

平成29年度

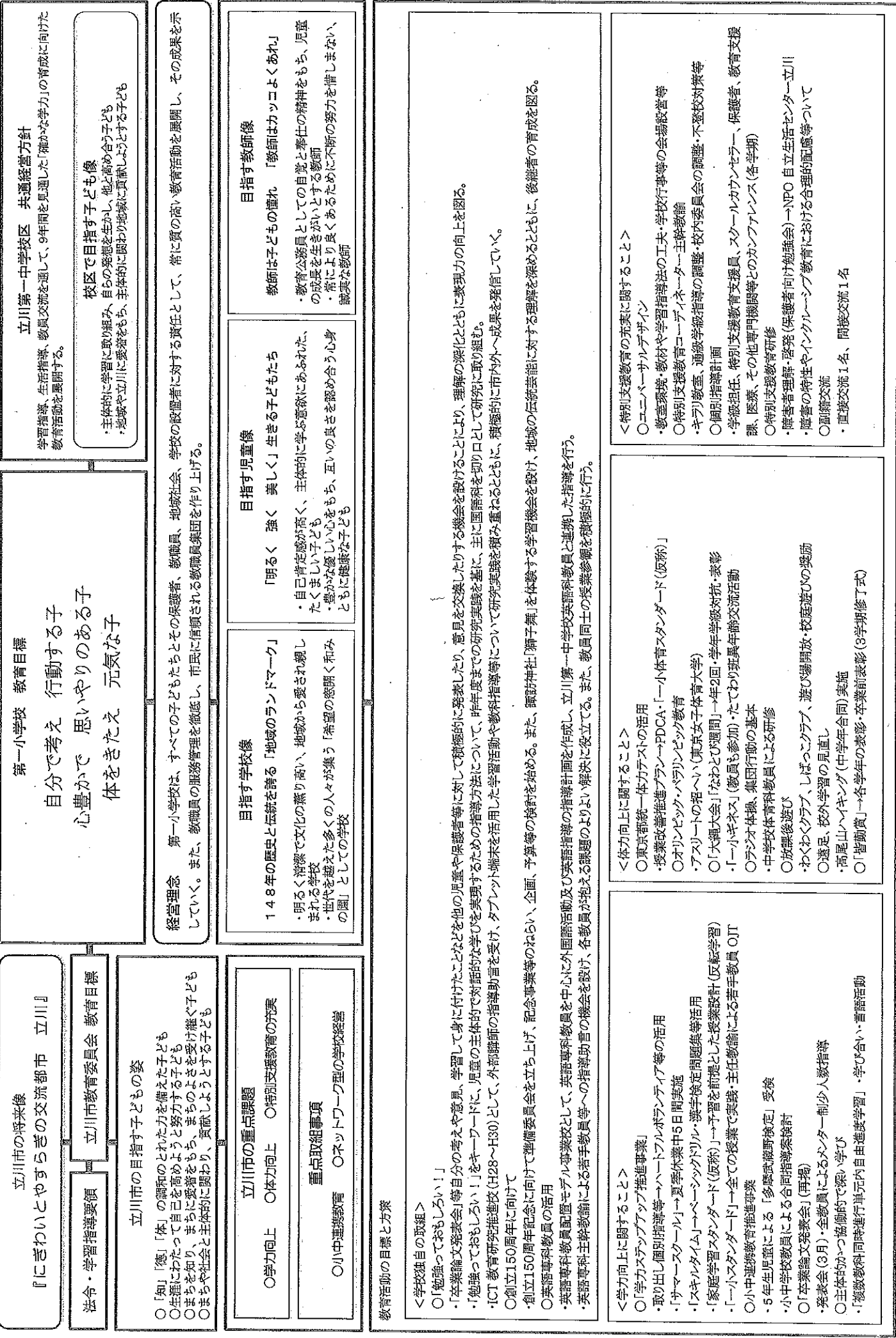
立川市立小・中学校

学校経営計画

概要版

平成29年度 立川市立第一小学校 学校経営計画 (概要版)

校長 對馬 洋



立川市の将来像

『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領

立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようとする子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題

- 学力向上
- 体力向上
- 特別支援教育の充実

重点取組事項

- 川中連携行
- ネットワーク型の学校運営

第二小学校 教育目標

人権尊重の精神を基調とし、自主性と創造性に満ちた人間性豊かな児童の育成を目指す。次の教育目標を定める。

- 健康で明るい子
- 進んで考え学習する子 ※本年度重点目標
- 心豊かで思いやりのある子

立川第二中学校区 共通経営方針

小中学校それぞれのカリキュラムの相互理解を深め、児童生徒の主体的な学びと自立を促す一貫した教育内容の推進。

校区で目指す子ども像

- 主体性をもち、自ら考えて行動できる子ども
- 生涯にわたり自ら学び続ける力を備えた子ども
- 自分の考えをもち、多様な他者と関わる子ども
- 学校や郷土に誇りと愛着をもち、社会に貢献できる子ども

経営理念 ○歴史と伝統を継承しつつ、社会の要請、教育改革の動向に注視し、関係諸法種に依り、公立小学校としての責務を遂行する。
○家庭・地域と協働し、より良い学校経営を通してよりよい地域社会の構築に寄与できる教育課程の実現を目指す。

目指す学校像

- 一児童の健やかな成長を願い、家庭・地域と協働する学校
- 安全・安心が確保され、思う存分学び遊べる学校
- 日々自己研さんにまい進する教職員集団の学校
- 保護者・地域が誇れる学校

目指す児童像 (教育目標を今日的に捉えた児童の姿)

- 自他の健康・安全に配慮でき、進んで心身の健康の保持・増進に努める児童
- 学習意欲、知識・技能を基盤に、諸能力を活用し他者と協働して問題解決に努める児童
- 他者の立場を思いやっていた行動ができ、進んで共助・共生に努める児童

目指す教師像

- 教師としての自覚を常にもち、職責の遂行に全力で取り組む教師 (職業)
- 不断の指導改善に取り組み教師 (子ども愛)
- 学校経営への参画意識をもち、同僚と協働して業務遂行に取り組む教師 (同僚学校愛)
- 地域を思い、地域社会と協働意識をもって業務遂行に取り組む教師 (地域愛)

教育活動の目標と方策

I 「生きる力」の育成 (学力・体力向上に関すること)

- 確かな学力の定着
- 授業改善の推進
- 授業改善推進プランの充実・活用
- 一単位時間、一週間のPDCAの実践
- 問題解決的な学習展開
- ICT (タブレット) の活用【I.C.T.教育推進委員会】
- 算数科における指導の個別化・学習の個性化
- 校内研究の充実 (教育力向上推進モデル校1年次)
- 対話型授業による思考力・判断力・表現力の育成
- 各種教育支援事業の活用及び特色ある教育活動の充実

【学力向上推進委員会】

- 豊かな心の醸成
- 組織的な生活指導体制の推進
- 心の教育の推進【特別の教科「道徳」推進委員会】
- 健全育成の推進
- 国際理解教育、福祉教育、環境教育の推進
- 「教育支援・外部人材リソース」の充実・活用
- 読書活動の充実【学校図書課・読書指導推進委員会】
- 学校図書館機能の整備拡充と読書指導の推進
- 健やかな体の育成
- 体力向上の推進【体力向上推進委員会】
- オリパラ教育との連携【オリパラ教育推進委員会】
- 健康教育の推進
- 食育の推進

(学校独自の取組)

- 学力向上…「二小スタンダード」「二小ペーシック」の徹底・対話型の授業展開・放課後チャレンジ教室・「教育支援・人材リソース」活用拡充・月例校内OJT研修
- 体力向上…業間休みの時間を活用した知識び、持久走の取組・体力向上エリアの設置
- 特別支援教育…特別支援教室担当教員との連携・特別支援教室在籍児童の保護者対象講演会の開催

II 特別支援教育の推進【特別支援教育推進委員会】

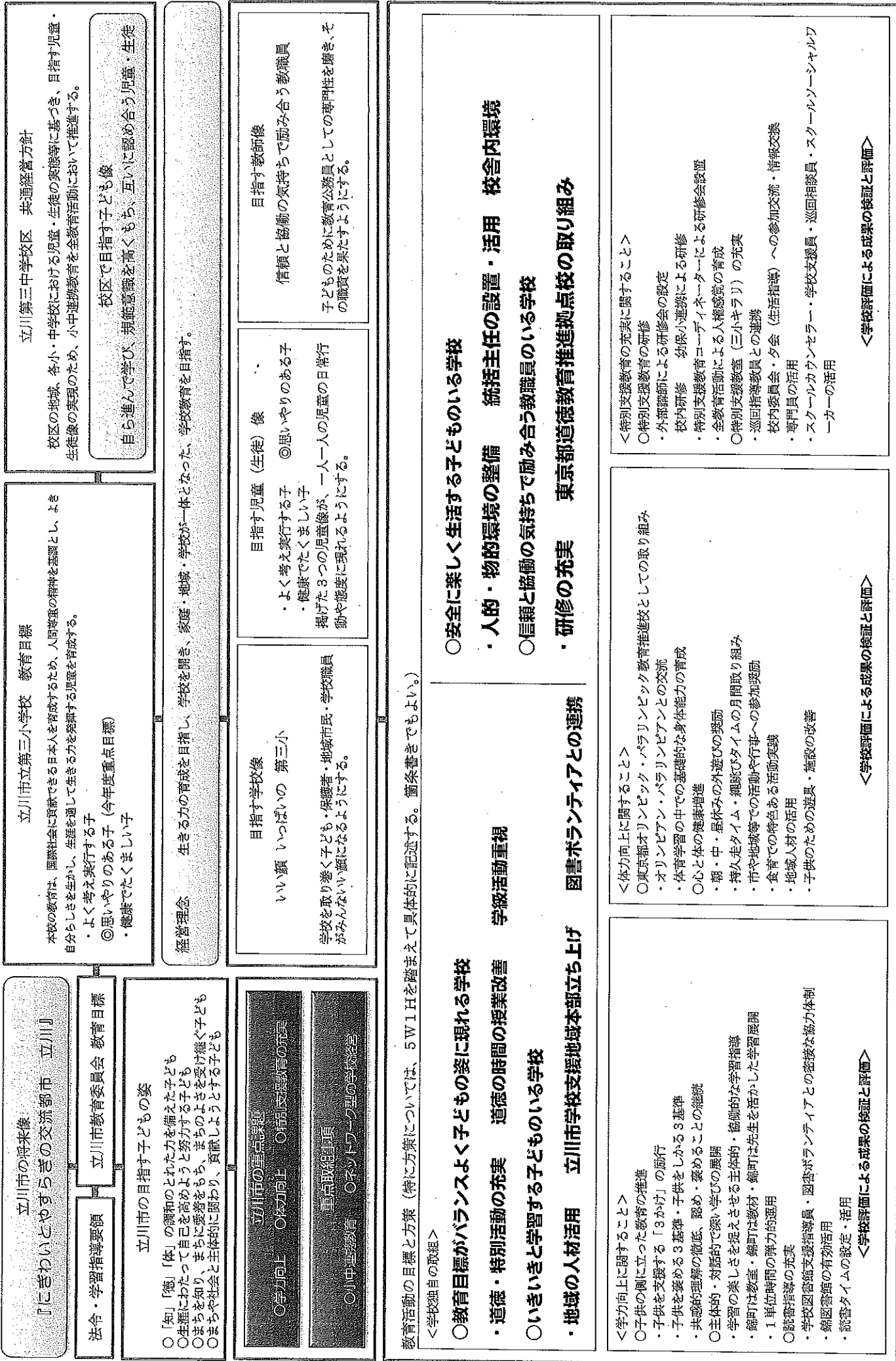
- (特別支援教育の充実に関すること)
- 特別支援教育校内委員会の充実
- 定例校内委員会の開催
- ケース会議の適宜開催
- 教員研修会の開催
- 生活指導全体会における情報共有
- SC・SSW・外部関係諸機関との連携
- 特別支援教室 (拠点校) 教員との連携
- 定例校内委員会における連携協力
- 個別の教育支援計画及び個別指導計画の作成における連携協力
- 外部関係諸機関との連携
- 教育支援課との連携
- 保健師・子ども家庭支援センター・医療機関等との連携
- 保護者への理解啓蒙
- 学校便り等の印刷物や保護者会、学校公開日、講演会等の機会の活用

III 教育環境の整備・充実

- 日常的な学校施設・設備の安全点検
- 児童の在校時及び下校時の安全対策
- 毎月の安全点検、安全指導及び避難訓練の適正実施と評価改善
- 登下校時の交通事故及び犯罪被害回避のための安全教育の徹底
- 新1年児童への年度当初における重点的安全指導
- 喫食アレルギー事故の未然防止
- 喫食前の複数回チェックの徹底
- アレルギー対応児童に係る情報共有
- アレルギー対応研修の実施
- SC、SSW、巡回相談員、各種支援員及び学習支援ボランティア等の効果的活用
- 特別支援教育コーディネーター等を中心としたコーディネート機能の充実
- 地域人材の積極的活用
- 「教育支援・人材リソース」の活用と内容充実

IV 家庭・地域等との連携・協力

- 家庭との連携
- 学校・学年便り、学校HP、学校公開日、保護者会、個人面談等、各種学校行事等の機会を活用した学校情報の発信
- 家庭学習習慣の確立に向けた継続的な家庭との連携
- 「二小ペーシック」の家庭への営業
- 全家庭配布による共通理解及び共通指導の徹底
- 地域との連携
- 学校便り、学校HP、各種学校行事、各種地域団体諸会合等の機会を活用した学校情報の発信
- 地域の人的・物的資源を活用した教育活動の充実
- 地域諸行事への積極的な参加
- 放課後子供教室「なごみん」への連携協力
- 親外クラブへの協力
- 立川二中校区小中連携活動の推進
- 立川市民科の推進
- 外国語活動指導における中学校英語科教員との連携
- 部活動体験及び受援体験の充実



立川市の将来像

『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領

立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題

○学力向上 ○体力向上 ○特別支援教育の充実

重点取組事項

○小中連携教育 ○ネットワーク型の学校経営

第四小学校 教育目標

- 心身ともにすこやかな子ども
- 根気強くやりぬく子ども
- よく考えくふうする子ども
- なかよく助け合う子ども

立川第一中学校区 共通経営方針

学習指導、生活指導、教員交流を通して、9年間を見通した「確かな学力」の育成に向けた教育活動を展開する。

校区で目指す子ども像

- ・主体的に学習に取り組む、自らの発想を生かし、他と高め合う子ども
- ・地域や立川に愛着をもち、主体的に関わり地域に貢献しようとする子ども

経営理念 学校は、子どもたち一人一人の可能性を引き出し、最大限に伸ばす使命を担い、保護者・地域社会の信頼に応えていかなければならない。

目指す学校像

- 「子ども、保護者・地域、教職員が誇りに思える学校」
- ・子どもにとって学べること、学んでいることを誇りに思える学校
- ・保護者・地域のみなさんにとって子どもを愛おむ、教師であることを誇りに思える学校
- ・教職員にとって子どもたちを教え育てることを誇りに思える学校

目指す児童像

- 「自尊感情が高く、生涯に渡って学び続ける子ども」
- ・心身ともにすこやかで、根気強くやりぬく子ども
- ・確かな学力を身につけ、主体的に学び続ける子ども
- ・互いの良さを認め合い、助け合う子ども

目指す教師像

- 「教育のプロとして自尊と責任をもつ教師」
- ・子どもの成長を認め、励まし、価値付けることができる教師
- ・自らの指導力を高めることにまい進する教師
- ・子ども、保護者、地域から信頼される教師

教育活動の目標と方策

方策 1

- 補完的な学習や家庭学習の習熟化(ベーンジック・ドリルの活用)
- 各教科を横断して学習資質能力としての思考力・判断力・表現力の育成(教育力向上推進モデル校)
- 思考の方法を指導するなどして、根拠を示しながら自分の考えを言ったり、発表したりする力の育成
- 小中連携による確かな学力の育成や生活指導の系統的指導、市民力の育成(多摩武蔵野院定一5年・救命救急講習一6年)
- 体力作り旬間の設定(学期一回)、外遊びや体験を促える運動への取組み、オリンピック・パラリンピック地域の推進
- 朝読書(週三回)の充実、タブレット端末の授業活用
- 個別指導計画に基づいた自立活動と教科の補充指導による特別支援教室での指導と各学級との連携

方策 4

- 教育活動の積極的な公開、保護者評価の実施(年2回)
- 5・6年生の地域防災訓練への参加、地域行事への参加
- 学校便りなどの各種便りの発行、ホームページの週2回以上更新
- 学習補助などの地域人材を生かした教育活動
- 立川市民科などで地域の人とのかかわりから学ぶ学習

目標 1 確かな学力「基礎基本の習得と思考力・判断力・表現力の育成」

- ①基礎基本の確かな習得と定着
- ②探究活動、問題解決的な学習による思考力向上
- ③小中連携と幼保小連携の推進、強化、充実
- ④計画的、体系的な取り組みによる体力向上
- ⑤読書活動の充実と情報処理能力と情報モラルの育成
- ⑥体系的な特別支援教育

目標 2 やさしい心「自他の生命を尊重し やさしい心の育成」

- ①人権尊重の精神と態度の育成
- ②自ら挨拶のできる子の育成
- ③自尊感情を高める教育の充実
- ④継続的ないじめ等の早期発見・対応・防止
- ⑤主体的に健康・安全を考え、行動できる力の育成

方策 2

- 人権講話の実施、校内掲示による人権尊重の精神の醸成
- 高学年のリーダーシップを通して挨拶運動
- 道徳授業地区公開講座の実施、考える道徳・議論する道徳への授業転換
- アンケート実施と生活指導委員会によるいじめの未然防止、早期発見
- 各事例に対処した避難訓練の実施
- 食物アレルギーへの理解研修と緊急対応訓練の実施

指導指針：認め、励まし、価値付ける

目標 4 社会のために「地域の一員としての自覚をもつ」

- ①開かれた学校づくりの推進
- ②地域の教育力を生かした活動
- ③立川市民科を通じた郷土・地域愛の育成

目標 3 個を輝かせる「自主自立を促す」

- ①児童の特性に合った指導を行い、自主自立を促す
- ②国際理解教育の推進とコミュニケーション能力の育成
- ③人との関わりを通して自尊感情を高め、共生の意識や態度の育成

方策 3

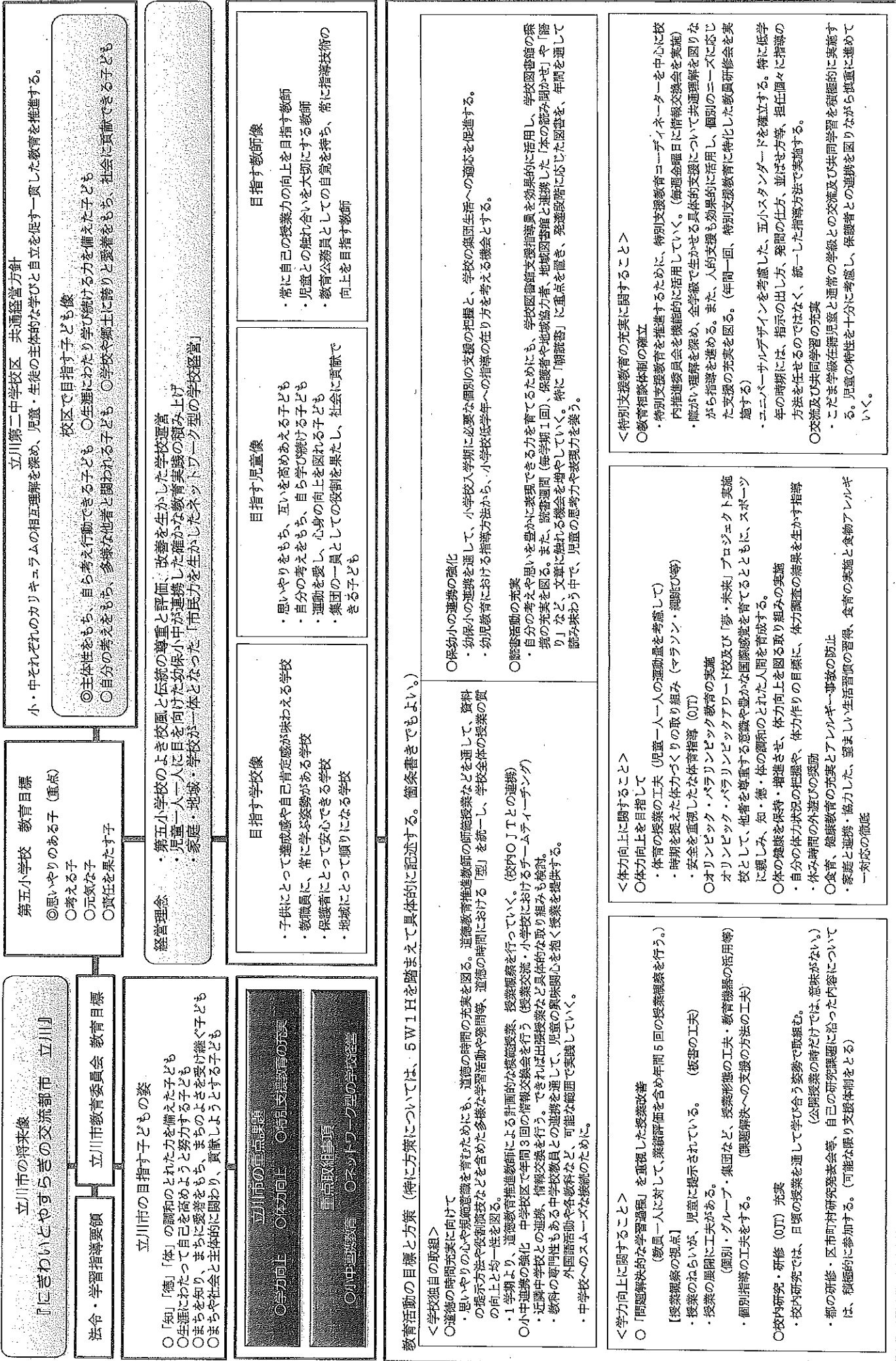
- 関係機関との連携や支援協力者を活用した特別支援教育、四小キラリとの連携
- 個別指導計画に基づいた個別指導計画の作成
- 校内委員会(月1回)を通じて組織的な支援体制
- オリンピック・パラリンピック教育推進校としての日本の伝統文化理解や国際理解教育の実施
- 3・4年生からの外国語活動の実施(年間1.5時間)
- 英語を学ぶこと、書くことに慣れ親しませる学習(5・6年生)
- 学校支援地域本部事業の活用(委員会活動)

方策 5

- 毎月、服務事故防止研修の実施
- 道徳、外国語活動の教科化やタブレット活用に関する研修
- 年4回以上の校内研究授業と年3回以上の授業観察の実施
- 毎週木曜日にOJT研修を実施

目標 5 指導力向上「教育のプロとして指導力をもつ」

- ①教育公務員としての自覚と責任を高める
- ②教職員の資質と指導力の向上



立川市の将来像
『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領
立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題

- 学力向上
- 体力向上
- 特別支援教育の充実

重点取組事項

- 小中連携教育
- ネットワーク型の学校経営

目指す学校像

- ・子供にとって達成感や自己肯定感が味わえる学校
- ・教職員に、常に学ぶ姿勢がある学校
- ・保護者にとって安心できる学校
- ・地域にとって頼りになる学校

目指す児童像

- ・思いやりをもち、互いを高めあえる子ども
- ・自分の考えをもち、自ら学び続ける子ども
- ・運動を愛し、心身の向上を図れる子ども
- ・集団の一員としての役割を果たし、社会に貢献できる子ども

目指す教師像

- ・常に自己の授業力の向上を目指す教師
- ・児童との触れ合いを大切にしている教師
- ・教育公務員としての自覚を持ち、常に指導技術の向上を目指す教師

教育活動の目標と方策 (特に方策については、5W1Hを踏まえて具体的に記述する。箇条書きでもよい。)

＜学校独自の取組＞

- 道徳の時間充実に向けて
 - ・思いやりの心や規範意識を育むためにも、道徳の時間の充実を図る。道徳教育推進教師の師範授業などを通して、資料の提示方法や役割演技などを含めた多様な学習活動や疑問等、道徳の時間における「型」を統一し、学校全体の授業の質の向上と均一性を図る。
 - ・1学期より、道徳教育推進教師による計画的な模範授業、授業観察を行う。 (校内OJTとの連携)
 - 小中連携の強化 中学校区で年間3回の情報交換会を行う (授業交流・小学校におけるチームティーチング)
 - ・近隣中学校との連携、情報交換を行う。できれば出張授業など具体的な取り組みも検討。
 - ・教科の専門性もある中学校教員との連携を通して、児童の興味関心を抱く授業を提供する。
 - ・外国語活動や各教科など、可能な範囲で実践していく。
 - ・中学校へのスームーズな接続のために。

＜学力向上に関する取組＞

- 「問題解決的な学習過程」を重視した授業改善 (教員一人に対して、業績評価を含め年間5回の授業観察を行う。)
- 【授業観察の視点】
 - ・授業のねらいが、児童に提示されている。 (板書の工夫)
 - ・授業の展開に工夫がある。
 - ・個別指導の工夫をする。 (課題解決への支援の方法の工夫)
- 校内研究・研修 (OJT) 充実
 - ・校内研究では、日頃の授業を通して学び合う姿勢で取組む。 (公開授業の時だけでは、意味がない)
 - ・都の研修・区市町村研究発表会等、自己の研究課題に合った内容については、積極的に参加する。(可能な限り支援体制をとる)

＜体力向上に関する取組＞

- 体力向上を目指すこと
 - ・体育の授業の工夫 (児童一人一人の運動量を考慮して)
 - ・時間を捉えた体力づくりの取り組み (マラソン・縄跳び等)
 - ・安全を重視したな体育指導 (OJT)
- オリンピック・パラリンピック教育の実施
 - ・オリンピック・パラリンピックアワード校及び「夢・未来」プロジェクト実施校として、他者を尊重する意識や豊かな国際感覚を育てるとともに、スポーツに親しみ、知・徳・体の調和のとれた人間を育成する。
 - 体の健康を保持・増進させ、体力向上を図る取り組みの実施
 - ・自分の体力状況の把握や、体力作りの目標に、体力調査の結果を生かす指導
 - ・休み時間の外遊びの奨励
 - 食育、健康教育の充実とアレルギー事故の防止
 - ・家庭と連携・協力した、望ましい生活習慣の習得、食育の実施と食物アレルギー対応の徹底

＜特別支援教育の充実に関する取組＞

- 教育相談体制の確立
 - ・特別支援教育を推進するために、特別支援教育コーディネーターを中心に校内推進委員会を機動的に活用していく。(毎週金曜日に情報交換会を実施)
 - ・障がい理解を深め、全学帯で生かせる具体的支援について共通理解を図りながら指導を進める。また、人的支援も効果的に活用し、個別のニーズに応じた支援の充実を図る。(年間一回、特別支援教育に特化した教員研修会を実施する)
 - ・ユニバーサルデザインを考慮した、五小スタンダードを確立する。特に低学年の時期には、指示の出し方、発問の仕方、並びせ方等、担任個々に指導の方法を任せるのではなく、統一した指導方法で実施する。
- 交流及び共同学習の充実
 - ・これまで学級在籍児童と通常の学級との交流及び共同学習を積極的に実施する。児童の特性を十分に考慮し、保護者との連携を図りながら慎重に進めていく。

＜特別支援教育の充実に関する取組＞

- 特別支援教育の充実
 - ・特別支援教育を推進するために、特別支援教育コーディネーターを中心に校内推進委員会を機動的に活用していく。(毎週金曜日に情報交換会を実施)
 - ・障がい理解を深め、全学帯で生かせる具体的支援について共通理解を図りながら指導を進める。また、人的支援も効果的に活用し、個別のニーズに応じた支援の充実を図る。(年間一回、特別支援教育に特化した教員研修会を実施する)
 - ・ユニバーサルデザインを考慮した、五小スタンダードを確立する。特に低学年の時期には、指示の出し方、発問の仕方、並びせ方等、担任個々に指導の方法を任せるのではなく、統一した指導方法で実施する。
- 交流及び共同学習の充実
 - ・これまで学級在籍児童と通常の学級との交流及び共同学習を積極的に実施する。児童の特性を十分に考慮し、保護者との連携を図りながら慎重に進めていく。

平成29年度 立川市立第六小学校 学校経営計画 (概要版)

校長 桐井 裕美

立川市の将来像 『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領 立川市教育委員会 教育目標

立川市の将来像 立川市立第六小学校 教育目標

立川市立第三中学校区 共通経営方針

校区の地域、各小・中学校における児童・生徒の実態等に基づき、目指す児童・生徒像の実現のため、小中連携教育を全教育活動において推進する。

自ら進んで学び、規範意識を高くもち、互いを認め合う児童・生徒

立川市の目指す子どもの姿

○「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
 ○生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
 ○まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
 ○まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

経営理念 ○「人として大切にすることは何か」、「子どもにとって何が大切か」を考え、地域協働型の学校運営を「チーム六小」として行う。
 ○人材育成、組織力の向上を図り、児童と教職員を繋げる。

立川市の重点課題

○学力向上 ○体力向上 ○特別支援教育の充実

重点取組事項

○小中連携教育 ○ネットワーク型の学校経営

目指す学校像

「I・合い・愛」のあふれる楽しい学校の創造
 I：一人一人が瞳を輝かせ生活する姿（自立）
 合い：共に学び合う意欲にあふれた姿（共学）
 愛：共に生きようとする言動にあふれた姿（共生）

目指す教師像

○人として大切にすることを考え行動する教師。
 ○学校の課題を把握し、主体的に改善する教師。
 ○組織力を高め、課題解決を図る教師。
 ○常に自己研さんに向き、向上しようとする教師。
 ○地域とともに学校を創り上げる教師。

教育活動の目標と方策（特に方策については、5W1Hを踏まえて具体的に記述する。箇条書きでもよい。）

<学校独自の取組>

○ひまわりの花の真ん中は子どもたち、花びらは教職員を表している校章の意味に込められた「子どもたちが、太陽に向かって健やかに育つように」を基に、「チーム六小」として教職員と子どもでよりよい学校を創る。
 ○ネットワーク型学校経営システムを構築し、羽衣町の地域の方々、保護者の方々、関係機関の方々に「チーム六小」のよきサポーターとして学校を支えていただくとともに、地域協働型の学校経営を行う。
 ○六小の子の人權標語「ひびけあいさつ元気よく まわりも大切 わたしも大切 りかいし合おうお互いを」を基に、教職員と子どもが、いつでも、誰にでも進んで元気よく挨拶をするとともに、自分も相手も大切にすることと態度を養う。

<道徳教育の要である「道徳の時間」を大切に、教員のほか管理職も授業を行い、豊かな心情や実践力を高める。
 ○教育力向上推進モデル校として、生活科、総合的な学習の時間を中心に「立川市民力を育む立川市民科の具体的な展開」をテーマに、授業実践を通して立川市民科の具体的な展開を市内外に提案する。
 ○朝学習等を活用した「さんさんタイム」において国語・算数・体力向上の取組を実施する。
 ○運動・食事・睡眠の目標を立てる、東京都統一体力アスタの記録をとじる等を行う、「ひまわりっ子元気アスタ」を活用し、健康増進・体力向上を図る。
 ○放課後子ども教室「はごろもっ子」において補完的な学習を行い、学力の向上を図る。
 ○学校支援地域本部事業の取組を学校支援コーディネーターを中心に円滑に進め、学校教育の充実を図る。

<学力向上に関すること>

○共通指導事項「六小スタンダード」（学校生活編・教科編）により望ましい学習態度及び学習習慣を身に付ける。
 ○「立川スタンダード20」を基に授業展開を行うとともに、「六小スタンダード」（授業展開編）を作成する。
 ○児童主体の授業を行うため、ねらいを明確にする、板書を工夫する、学び合いの時間を確保する、学習のまとめを児童に行わせる授業を展開する。
 ○基礎的・基本的な知識の定着、思考力・判断力・表現力等の向上を図る授業を実施するため、問題解決型学習・体験学習・言語活動の充実を図る。
 ○ICTの活用を通して多面的・多角的な授業の創造を行う。
 ○家庭学習時間を学期に1回ずつ実施し、保護者の意見を参考に、毎日の音読・算数・計算練習の改善、充実を図る。
 ○日常的に授業公開を実施し、教員同士の学び合いのほか、管理職が指導・助言を行う。

<体力向上に関すること>

○東京都統一体力アスタの結果を分析し、健康教育の充実及び体力向上のため、毎週水曜日に「さんさんタイム（体力向上）」を実施し、年間を通して体力向上を図る。
 ○オリンピック・パラリンピック教育を各学年35時間実施し、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高める。
 ○食育リーダーや栄養士を中心に、系統的・計画的な食育を行う。
 ○「健康的な生活習慣づくり」を設定し、生活習慣の見直しを行う。

<特別支援教育の充実に関すること>

○特別支援教育コーディネーターを2人指名し、学校、家庭、関係機関をつなぎ、組織的な対応及び個に応じた指導を充実させる。
 ○学級担任と巡回指導教員等が連携し、特別支援教室六小キラリの運営の充実を図るとともに、児童、保護者へ特別支援教室についての理解啓発を推進する。
 ○副都庁制度による直接交流及び間接交流の充実を図るとともに、保護者、地域への理解啓発を図る。
 ○スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカー、巡回相談員等を有効活用し、教育相談の充実を図る。
 ○児童が落ちついて生活できる学級・学校の環境づくりを行うため、ユニバーサルデザイン活用の活用を図る。
 ○「個別の教育支援計画」、「個別指導計画」、「個別適性計画」の作成・活用により、児童の教育的ニーズに応じた指導及び支援の充実を図る。

第七小学校の教育信条

『我等は人間 よき人間でありたい』 武者小路実篤

第七小学校 教育目標

人権尊重の精神に基づき、これからの社会に主体的に対応し、国際社会

に貢献できる、心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成を目指す。

立川市の将来像

『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領

立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めて努力する子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題

○学力向上 ○学力向上 ○学力向上 ○学力向上 ○学力向上

重点取組事項

○小中連携教育 ○ネットワーキング型の学校経営

立川第三中学校区 共通経営方針

校区の地域、各小・中学校における児童・生徒の実態等に基づき、目指す児童・生徒像の実現のため、小中連携教育を全教育活動において推進する。

校区で目指す子ども像

自ら進んで学び、規範意識を高くもち、互いを認め合う児童・生徒

経営理念 学校は、子どもたちのためである。一人一人の子どもが認められ、今の自分に自信をもち、明日に向かってよりよい生き方を求める人間でありたい。学校に受容的、共感的、肯定的な雰囲気があふれるとき、全ての子どもたちが今日の学びを喜び、明日が待たれる学校になるはずである。『子どもたちのための学校であれ』

目指す学校像

- 力を高め、自信と誇りを育む学校
- 保護者・地域が信頼を寄せられる学校
- 教職員が生きがいをもてる学校
- 文化の香りが漂う学校

目指す児童像

- 元気な子
- 考える子・・・今年度の重点
- ねばり強い子
- 思いやりのある子

目指す教師像

- 児童一人一人を大切にし、人間力を育てる教師
- 自己の指導力、教師力の向上を図り続ける教師
- 志を高くもち、豊かな人間性を築く教師
- 地域・社会に貢献する教師

教育活動の目標と方策

<学校独自の取組> 自らかかわる力 (徳育)、自ら学ぶ力 (知育)、自ら支える力 (体育) を付ける教育活動の推進

つなぐ

1 「主体的・対話的で深い学び」の追究 ①校内研修 (次期学習指導要領の方向性と算数科授業の充実)、6月28日 校内研修 (算数科基礎授業に学ぶ)

2 学期 授業研究6回 (通常の学級3回、キラリ3回) 3 学期 研究の成果と課題まとめ、七小スタンダードの確立

②「考え・議論する道徳」に向けての授業改善・・・校長によるミニ研修会 (年間を等して)、道徳授業地区公開座談会指導、授業観察
学校教育全体で行う道徳教育、別業の作成 全単元をふかしく、関連付けた単元配列表の作成・・・夏休休業中
教科書をつなぐ、体験と言語をつなぐ、教科書をつなぐ、単元をつなぐ、教育活動をつなぐ(カリキュラムデザインを意図して) 次年度の教育活動年間指導計画作成

3 創立60周年に向けての準備・・・ ①実行委員長依頼(4月)、実行委員会立ち上げ(5月上旬)と開催(年4回)、 ②校内委員会組織(試典、児童集会、記念誌作成、その他の行事)
4 働き方改革・・・退勤時間、土日の休業、スクラップ&ビルド(会議の精選、行事の見直し)、コンプライアンス意識の向上(計画的な服務事故防止研修)

<等力向上に関すること>

- 授業力・指導力の向上
 - ・主体的、対話的で深い学びのある授業づくりの推進 (研究：算数科)
 - ・授業のUD化(焦点化、視覚化、共有化)
 - ・学力ステータップアップ推進事業、立川スタンダード2.0による授業改善
 - ・ICT活用、外国語活動、体験的・問題解決的な学習活動の重視
 - 個に応じた学習支援の充実(補充・補習指導)
 - ・東京ベネッセドリル活用・スキルアップタイム・スマイル教室 等
 - きめ細やかな指導計画に基づく授業の実施
 - ・通ごとの指導計画によるPDCAサイクル
 - ・若手教員育成研修(目標・成果・課題の確認と指導)
 - 学習・生活規律の徹底「よいところをもっとよく」
 - ・家庭との連携による生活習慣向上への取組 (年3回) 学習・読書・仕事
 - ・読書活動の推進 (冊数目標、小中連携、地域図書館活用)

<体力向上に関すること>

- 体育授業の指導法改善
 - ・体力測定活用の活用による体育授業の改善 (走力、瞬発力、持久力)
 - ・専門的なG.Tによる指導 (陸上、ラジオ体操、行進、器械体操 等)
- 健康教育・食育・保健指導の充実
 - ・日常的な外遊びの励行と一校一取組 (三小校区連携縄跳び)
 - ・食育の工夫と充実 (給食・栄養指導、絵本コラボ)
 - ・栄養論との連携による心と体に関する保健指導
 - ・薬物等に関する段階的指導 (低・中・高)
 - ・早寝、早起き、朝ごはん、歯磨き
- オリンピック・パラリンピック教育推進校
 - ・オリンピック、パラリンピックとの直接交流 (本物との出会い、生き方)
 - ・年間指導計画による授業 (各教科・領域等)との関連
 - ・礼儀作法、おもてなしの心、伝統文化理解、国際理解、平和貢献 等

<特別支援教育の充実に関すること>

- 特別支援教育マイスタースクール (立川ブランド)
 - ・特別支援教室セブキマリ、ことばの教室担任との密なる情報交換・連携
 - ・授業のユニバーサルデザイン化 (補充指導の工夫・充実)
 - ・学校支援員、学習支援員、学生ボランティアの活用
- 道徳の時間を要とした道徳教育の推進
 - ・年間35時間の授業の確実な実施と移行準備 (年間指導計画・別業作成)
 - ・「考え・議論する道徳」授業の指導法研修会実施 (小中連携)
- 自立と共生を育む教育の実施
 - ・学校支援地域本部による地域人材の活用、立川市民科 (ネットワーク)
 - ・本物との出会い、体験的な活動の充実
 - いじめ防止、不登校児童への対応
 - ・特別支援教育コーディネーター、SC、SSW、巡回相談員等との連携による校内委員会の充実

立川市の将来像
『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領
立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿
○「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
○生涯にわたって自己を高めようとする子ども
○まちは知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
○まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題
○学力向上 ○体力向上 ○特別支援教育の充実
重点取組事項
○小中連携教育 ○ネットワーク型の学校経営

第八小学校 教育目標
よく考え実行する子ども
自ら考え、正しく判断し、実践する児童の育成
◎心豊かで思いやりのある子ども
いっしょに心で、人・もの・自然と豊かにかかわる児童の育成
心も体もたくましい子ども
心身ともに健やかで、粘り強くやりぬく児童の育成

立川第六中学校区 共通運営方針
校区で目指す子ども像
① 自分の力を伸ばすために意欲的に学び続ける
② 自分を大胆にするとともに他の人との関わりを大胆にする
③ よく考え、正しい判断で行動できる
④ 地域を愛し、地域に深く関わり貢献できる

経営理念
子どもにとって「楽しい学びの場」を構築すること、「安心して学ばせられる場」を構築し、「未来をつくる 元気な子」を育成する。
「子どもが主体的に活動し、それぞれの場面できちんと成長すること、子どもの自己肯定感を高めさせる。」

目指す学校像
『和風満堂』
～和やかな風が校内を満ちている～
人権が尊重された校風に満ちた校内で、子どもたちが皆元気に活躍できる学校

目指す児童（生徒）像
「未来をつくる 元気な子」
～自己肯定感が高く、社会貢献の意欲にあふれる子～
何事に対しても、好奇心をもって取り組む子ども
「知」「徳」「体」をバランスよく身に付けた子ども

目指す教師像
「子どもを元気にする 元気な先生」
～今日の学校生活を満足させ、明日の学校生活を楽しみにさせる先生～
「感しさ」と「厳しさ」を併せ持つ教師
授業力で勝負する教師

教育活動の目標と方策

<学校独自の取組>

「持続可能な社会づくりに向けた教育推進校」(都研究指定校)として、人や自然と触れ合う体験活動を重視

- ① 環境教育の推進
 - ・ビオトープづくり1年目
 - ・果物づくりによる愛鳥活動1年目
 - ・生き物の飼育栽培活動の充実
 - ・水田や農園の再生
- ② 情報教育の充実
 - ・E.S.Dの成果発信

③ 立川市民科の充実

- ・保育園や福祉作業所との交流1年目
- ④ 総合的な学習の時間や特別活動の内容の精選
 - ・花いっぱい活動1年目
 - ・縦割り班活動2年目

*子どもたちの活動が地域貢献につながり、一人一人の自己肯定感の向上につながる。

<学力向上に関すること>

教師の授業力の向上により、子どもたちに「わかる・できる」を味わわせる
① 「自分から進んで学習に取り組む子どもの育成 ～みんながわかる算数の授業をめざして～」(市研究推進指定校2年目)
② 「E.S.D」(都研究指定校1年目)
① ②の研究推進のため、全教員の研究授業実施と研究協議会の改善

基礎的・基本的な学力の定着

- ① 習熟度別指導や個別指導の充実
 - ・放課後の補習や放課後ステップアップ教室の実施(週1回)
- ② 東京ベーションック・ドリル等の有効活用
 - ・進捗状況の家庭への伝達(各学期1回)
- ③ 読書活動の充実
 - ・読書感想文の学校全体での取り組み(校内発表会等実施予定)

<体力向上に関すること>

体を動かすことの楽しさを子どもたちに味わわせる

- ① 体育の授業改善
 - ・授業観察の実施(年1回)
 - ・体育実技研修の実施(年3回以上)
- ② 集会活動等の工夫改善
 - ・マラソン週間やなわとび週間の実施(各学期1回)
- ③ オリジンピック・パラリンピック教育推進
 - ・パラリンピック・パラリンピックの招へい
 - ・教材教具の整備

放課後の遊び場づくり

- ① 保護者や地域の方の見守りの下、校庭開放1年目
 - ・2学期開始に向けた組織づくりから

<特別支援教育の充実に関すること>

- ① 八小キマリと学級担任の連携強化
 - ・校内での一貫した指導の実施
 - ・キマリ担任を講師とした研修の実施(年1回以上)
 - ・教育支援校内委員会との連携
- ② 関係諸機関との連携
 - ・子ども家庭支援センターや児童相談所との連携
 - ・S-CやSSWの活用

UD化の推進

- ① 言語環境の改善
- ② 通常学級のUD化の推進

人権尊重の精神を基に、心身ともに健康で、調和が取れた人間性豊かな児童の育成を目指す。

- 思いやりのある子 (徳)
- ◎ 自ら学ぶ子 (知) <重点目標>
- たくましい子 (体)

年長1年と小中9年の10年間を通して連携教育活動により、途切れ・隙間のない滑らかな指導を目指す。このことを通じて、児童・生徒理解を基盤とした個に応じた働きかけを充実し、知・徳・体の調和の取れた人間の育成に努める。

校区で目指す子ども像

- 豊かな人間性を身に付け、健やかでたくましく生きる児童・生徒
- 地域の方との活動を通して郷土を学び、郷土を愛し、環境を大切に守り続ける児童・生徒

『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領

立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生運にわたって自己を高めようと努力する子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川第五中学校区 共通経営方針

年長1年と小中9年の10年間を通して連携教育活動により、途切れ・隙間のない滑らかな指導を目指す。このことを通じて、児童・生徒理解を基盤とした個に応じた働きかけを充実し、知・徳・体の調和の取れた人間の育成に努める。

校区で目指す子ども像

- 豊かな人間性を身に付け、健やかでたくましく生きる児童・生徒
- 地域の方との活動を通して郷土を学び、郷土を愛し、環境を大切に守り続ける児童・生徒

経営理念 「子どもが伸びる 大人も伸びる 夢と希望を育む学校」

- 豊かなふれあい、確かな児童理解、どの子にも分かる指導の徹底

立川第五中学校区 共通経営方針

年長1年と小中9年の10年間を通して連携教育活動により、途切れ・隙間のない滑らかな指導を目指す。このことを通じて、児童・生徒理解を基盤とした個に応じた働きかけを充実し、知・徳・体の調和の取れた人間の育成に努める。

校区で目指す子ども像

- 豊かな人間性を身に付け、健やかでたくましく生きる児童・生徒
- 地域の方との活動を通して郷土を学び、郷土を愛し、環境を大切に守り続ける児童・生徒

立川市の重点課題

- 学力向上
- 体力向上
- 特別支援教育の充実

重点取組事項

- 小中連携
- ネットワーク型の学校経営

目指す学校像

- 児童が生き生きと学び、将来の夢を育む学校
- 一人一人を大切に、安全・安心で信頼される学校
- 地域の学校として、みんなが応援し、誇りに思える学校

目指す児童 (生徒) 像

- お互いを大切に思いやりの心や、協調したり感動したりする心をもつ、心豊かな子
- 基礎的な知識と技能を身に付け、自分で考え、自信をもって行動する子
- 将来に向けて希望をもち、すすんで体を鍛え、たくましく自立できる子

＜教育活動の目標と方策＞

＜体力向上に関すること＞

【目標1】 体力の向上

◆ 体力の向上を実感する児童80%以上

【方策1】 体育の授業改善、毎学期の運動週間の設定、「一校一取組運動」の実施

【目標2】 運動への関心・意欲の向上

◆ 体を動かすことが好きな児童80%以上

【方策2】 「オリンピック・パラリンピック教育」の推進、外遊びの励行、ラジオ体操の日常的な指導

【目標3】 基本的な生活習慣の定着

◆ 基本的な生活習慣が身に付いた児童80%以上

【方策3】 食育の推進、早寝早起き・朝ご飯の励行

＜学力向上に関すること＞

【目標1】 どの子にも分かる授業の工夫

◆ 授業の内容が分かるという児童80%以上

【方策1】 授業のユニバーサルデザイン化、ICT機器を活用した効果的な指導の推進

【目標2】 反復学習、家庭学習、補充的学習の充実

◆ 東京ベータ・ドリルの前年度平均正答率からの向上

【方策2】 補習教室等実施計画に基づく補充的学習の実施

【目標3】 学習支援を活用した授業の実施

◆ 家庭学習も含め、学習の習慣を身に付けた児童80%以上

【方策3】 保護者ボランティア等による学習支援組織を、各学年とも学期1回以上活用

【目標4】 本に親しむ子の育成

◆ 読書が好きな児童75%以上

【方策4】 お薦めの本の紹介、計画的な読み聞かせ、読書週間の充実

＜学校独自の取組—生活指導に関すること—＞

【目標1】 どの子にも分かる、守れる生活ルールの指導の徹底

◆ 学校の決まりが守れたと感じる児童80%以上

【方策1】 指導のポイントを文書化し、全教職員による統一した指導

【目標2】 明るく元気な挨拶と優しい言葉遣いの推進

◆ すずんで挨拶や優しい言葉遣いができる児童80%以上

【方策2】 挨拶習慣の指導徹底とふわふわ言葉の推進

【目標3】 毎週金曜日の「生活指導 特別支援夕会」の充実

◆ 児童理解の深まりや組織的な対応の効果をj感する教員80%以上

【方策3】 毎週金曜夕会で児童理解を深める情報交換とSCからの助言の場の設定

【目標4】 いじめ、不登校等の課題への即時・早期・組織的対応の実施

◆ いじめや相談も相談できないう児童0%、不登校出現率の減少

【方策4】 生活指導部による「いじめ0日」(毎月10日)の取組、いじめ防止授業のデータベース化、SSWによる不登校児童への継続的な支援

＜成果目標＞

【目標1】 どの子にも分かる授業の工夫

◆ 授業環境のユニバーサルデザイン化を進めた教員80%以上

【方策1】 教室前面の掲示物をなくし、シンプルな環境で指導をj感

【目標2】 相談活動の充実

◆ 相談活動の充実を実感する教員75%以上

【方策2】 特別支援週間(学期に1回)の相談活動、校内委員会等の開催

【目標3】 特別支援教育の理解が進んだと感じる教員75%以上

◆ 特別支援教育の理解が進んだと感じる教員75%以上

【方策3】 くわのみ学級、社会福祉協議会、特別支援教室キラリによる障がい理解教育の実施、特別支援教育の研修実施

【目標4】 支援計画に基づく計画的な特別支援教育の実施

◆ 支援が必要な児童への学校生活支援シート、個別指導計画の作成

【方策4】 就学支援センターをj感した児童への支援計画の作成

＜学校独自の取組—特色ある教育活動—＞

【目標1】 どの子も活躍できる体験活動 (夢ファーム) の充実

◆ 地域や学校の特徴を理解して、学校のよさをj感する児童80%以上

【方策1】 校務分掌の担当組織と年間指導計画に基づく指導の充実

【目標2】 地域行事等の伝統文化理解と地域人材の活用

◆ 地域人材の活用による教育活動の充実を実感する教員80%以上

【方策2】 学校支援コーディネーターを通して人材活用による教育活動の工夫

【目標3】 考え、議論する道徳の指導の工夫

◆ 道徳の時間に考えが深まるとする児童80%以上

【方策3】 問いを工夫した計画的な道徳授業の実施、指導案の共有化

【目標4】 幼稚園、保育園、中学校区の連携強化

◆ 進学をj感しみにする児童90%以上

【方策4】 幼稚園、保育園との交流会、小中連携外国語活動、「立川市民科」の充実に向けた連携、計画的な合同研修

【目標5】 学校生活の積極的な情報発信

◆ 学校生活の様子がかかると感じる保護者85%以上

【方策5】 学校ホームページの積極的な情報発信、児童のj感を受けた朝会通信の発行

＜学校独自の取組—特色ある教育活動—＞

【目標1】 どの子も活躍できる体験活動 (夢ファーム) の充実

◆ 地域や学校の特徴を理解して、学校のよさをj感する児童80%以上

【方策1】 校務分掌の担当組織と年間指導計画に基づく指導の充実

【目標2】 地域行事等の伝統文化理解と地域人材の活用

◆ 地域人材の活用による教育活動の充実を実感する教員80%以上

【方策2】 学校支援コーディネーターを通して人材活用による教育活動の工夫

【目標3】 考え、議論する道徳の指導の工夫

◆ 道徳の時間に考えが深まるとする児童80%以上

【方策3】 問いを工夫した計画的な道徳授業の実施、指導案の共有化

【目標4】 幼稚園、保育園、中学校区の連携強化

◆ 進学をj感しみにする児童90%以上

【方策4】 幼稚園、保育園との交流会、小中連携外国語活動、「立川市民科」の充実に向けた連携、計画的な合同研修

【目標5】 学校生活の積極的な情報発信

◆ 学校生活の様子がかかると感じる保護者85%以上

【方策5】 学校ホームページの積極的な情報発信、児童のj感を受けた朝会通信の発行

『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

立川市の将来像
立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題

○学力向上 ○体力向上 ○特別支援教育の充実

重点推進事項

○小中連帯教育 ○ネットアップ型の学校経営

立川市立第十小学校 教育目標

- すこやかな子ども
- ・人間関係構築力・丈夫な体、基本的な生活習慣の確立、意欲的に学び進歩・強く優しい心
- 思いやりのある子ども
- ・自他を大切にすること、豊かな社会性や道徳観、集団の一員としての意識
- ◎考える子ども・・・重点目標
- ・基礎的・基本的な内容の定着、予習やイメージがもてる子ども

立川第六中学校区 共通経営方針

- 校区内で目指す子ども像
- ① 自分力を伸ばすために意欲的に学び続ける
- ② 自分を大切にするとともに他の人との関わりを大切にできる
- ③ よく考え、正しい判断で行動できる
- ④ 地域を愛し、地域に深く関わり貢献できる

子供の未来を応援する学校を目指して ～日常の学びが未来をつくる～

経営理念

目指す学校像

- 子どもたちの「やる気」があふれる学校
- ・失敗も大切な学び、チャレンジこそが大切
- 教師の向上心があふれる学校
- ・高いモチベーションと粘り強い指導
- 家庭・地域・他機関との強いつながりがある学校
- ・信頼に基づく情報の共有と行動の連携

目指す児童（生徒）像

多様で変化が激しい社会において、自己を見失わずに、豊かなコミュニケーション能力で他者と協働し、学び続け、社会の幸福に貢献できる社会人の基礎を身に付けた子ども

目指す教師像

- 児童を深く理解し、良さを伸ばし、課題解決に取り組む教師
- チャレンジ精神を忘れず、向上心にあふれた教師
- 専門性、広い視野、失敗を恐れない、心身の健康
- より多くの人のために思いを寄せ、責任感のある教師
- ・謙虚な姿勢、危機管理、服務意識、

教育活動の目標と方策（特に方策については、5W1Hを踏まえて具体的に記述する。箇条書きでもよい。）

<学校独自の取組> <H29 第十小学校の重点>

- 立川市教育委員会研究指定校の研究発表・・・
- 主体的に学ぶ児童の育成・・・
- 特別支援教育の充実・・・
- 次期学習指導要領への取組・・・

- 「進んで学び、課題解決できる児童の育成」～ICTの活用を通して～
- 特別活動の充実、代表委員会の活性化 他
- 特別支援教室の整備・充実、通常の学級での充実、他
- アクティブラーニング、全校ルールによる効果的な教育、新たな取組の推進、校務分掌 他

<学力向上に関すること>

○授業での児童の豊かな学びの保障（教員の授業力の一層の向上）

- ★教員のより深い児童理解
- ★授業の視点の明確化
- ★課題解決型の授業の充実
- ★教員の情報交換の活性化
- ★ICT を使った授業作り
- ★合理的配慮を意識した授業作り
- ★道徳と外国語活動の充実
- ★評価の工夫

<体力向上に関すること>

○体力向上と健康作りの推進

- ★体育科授業充実
- ・校内体育部の活性化
- ・指導者へのOJT及び校外研修会への参加の促進
- ★日常的な取組と重点的な期間での取組の充実
- ・なわとび旬間
- ・持久走旬間

<特別支援教育の充実に関すること>

○特別支援教育の充実

- ★特別支援教室の充実
- ★通常の学級での特別支援教育の充実
- ★特別支援学級と通常の学級との交流活動と共同学習の充実
- ★教員の特別支援の視点からの授業力の向上
- ★他地区も含めた積極的な情報の収集

立川市の将来像 『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領 立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市教育委員会 教育目標

よく考える子の育成…自立
思いやりのある子の育成…共生
たくましい子の育成…元氣

けやき台小学校 教育目標

輝くひとみ 笑顔あふれるけやき台の子

校区で目指す子ども像

- ・基礎：基本の力を身に付け、課題をもって取り組む児童・生徒
- ・思いやりの心をもち、地域や人との関わりを大切に児童・生徒
- ・地域への愛着や貢献できる意欲をもたせ、世界に目を向けることのできる児童・生徒
- ・夢をもち、何事にも自信がもてる児童・生徒

立川第九中学校区 共通経営方針

まちの人、もの、ことにすすんで関わり、地域を愛する心情やまことに貢献する態度を養う。

経営理念 子供をど真ん中に置き、子供たちの思い出に残る一年を ～統合へ向けて「連携・協働」「発信」「発信」を基盤にした教育活動を～

立川市の重点課題

○学力向上 ○体力向上 ○特別支援教育の充実

重点取組事項

○小中連携教育 ○ネットワ－ク型の学校経営

目指す学校像

- ・人権尊重の精神に基づき、学校に関わる全ての人々が「自分も他の人も大切にしよう」学校
- ・確かな学力向上を目指し、児童も教師も共に学び合う学校
- ・全ての職員が児童の健全育成に向けて、組織体として機能する学校

目指す児童像

- ・自立…主体的に学び、問題解決や目標達成に取り組む児童
- ・共生…共感する態度で接し、相手を理解し、互いの違いと良さを認め合う児童
- ・元氣…快活な態度で過ごす、何事も最後まであきらめず、粘り強く取り組む児童

目指す教師像

- ・児童の主体性を大切にし、教えることに喜びを感じ、授業を構成するための努力を惜しまない教師
- ・人権感覚を磨き高め、公平・公正かつ児童の背景や環境を押し量って対応できる教師
- ・高い同僚性をもち、互いに切磋琢磨しながら協力して業務を遂行する教師

教育活動の目標と方策	確かな学力	心豊かな児童	体力の向上	特別支援教育	防災・安全	ネットワ－ク型学校経営	校内協働体制構築
<ul style="list-style-type: none"> ○次期学習指導要領の「主体的、対話的で、深い学び」を各教科領域で目指す。 ○毎週全児童対象の補習教室を開催し、習熟度に応じた学習指導を展開する。 ○「個別→ペア→グループ→全体」の学習形態を取り入れ、協働的な学習を目指す。 ○中高学年の外国語学習に取り組む。 ○タブレット活用の学習に取り組む。 ○「結論→理由(→証拠)」の話し方を重視する。 ○けやき台スタンプカードに基づく授業を行う。 ○授業規律と生活規律の関連を重視し、全学級で「けやき台小の約束」を構造化し実践する。 ○算数の習熟度別授業を充実させ、基礎技能の充実とともに数学的な思考力を高める。 ○理科における問題解決的学習を充実し、科学的なものの方や考え方を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権教育全体計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を推進する。 ○毎週「道徳の授業」を道徳教育の要として実践し、豊かな心の育成を図る。 ○いじめの予防・早期発見・早期対応に組織的に取り組む。 ○規範意識を高め、落ち着いた姿勢のある学校生活を送ると共に、小さな成功体験を積み重ね、教員や級友から褒め励まし、認められる経験を通して自己肯定感を高める。 ○特別活動による豊かな人間関係を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科体育や縄跳び検定、持久走等体育的な活動の充実を図る。 ○体力テストの結果を生かした体力向上計画の立案と推進をする。 ○オリンピックパラリンピック教育推進校として、オリンピックやパラリンピアン等を招き、リンピアン等と交流する等の取組を充実させる。 ○早寝、早起き、朝ご飯、生活習慣の改善と保護者への啓発活動を行う。 ○児童の食への関心を高め、アレルギ－対応研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○難聴言語障害学級の教員と通常の学級の教員との協働による、全児童への配慮と具体的な立ての立案と実践をする。(個別指導計画の充実を図り、保護者と学校及び医療機関との協働を推進する。) ○UDLの視点で全ての児童に対応する。 ○毎週金曜日に実施する特別支援校内委員会の充実と医療機関等との連携。 ○スク－ルカウンセラーや市の巡回相談員との協力と連携を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な状況を想定した避難訓練の計画と実施をする。 ○事故発生作成冊子「8.1を忘れない」を活用し、啓発を行う。 ○警察との連携による不審者対応訓練を年1回、校内での教職員訓練を年2回実施する。 ○小学校6年生で、救急救命講習を行い、災害時等で主体的に人命救助に関わられるようにする。 ○学校防災マニュアルの改善と徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者・地域・関係機関と連携・協働する、ネットワ－ク型の学校経営体制を構築して、思い出に残る教育活動を推進する。 ○子供の居場所作りのためのホリデー・スクール開催に協力する。 ○土曜授業参観を年3回実施し、保護者の参加を促し、学校運営への理解を図る。 ○子どもの見守りに関する学校ボランティア等との協働体制を充実させる。 ○市民科や多摩・武蔵野検定等により、立川に愛着をもち、関わり、貢献する児童を育む。 ○小中連携とともに、統合へ向けて小中連携も強く推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事務、用務、管理職による経営支援部会を組織し、改善事項の対応を図る。 ○校長室通信で経営方針を浸透させ、指導力向上を図る。 ○運営委員会の充実、検討・協議事項の精査による職員会議時間の短縮を行う。 ○学年会、ブロック会の時間を確保し、風通しのよい学年経営を実現させる。 ○「報連相」「てんしゅかく」の徹底を図る。 	

平成29年度 立川市立西砂学校 学校経営計画 (概要版)

校長 小崎 仁

立川市の将来像
『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領
立川市教育委員会 教育目標

西砂小学校 教育目標
立川第七中学校区 共通経営方針

- 思いやりのある子ども
- ◎自分の考えをもつ子ども (今年度の重点目標)
- 健康で明るい子ども

校区内
立川市立西砂学校

校外
立川市立第七中学校区

「自ら学び、自ら行動する、自立した子ども」

校区内
立川市立西砂学校

校外
立川市立第七中学校区

経営理念
すべての子どもの学びを保障し、その可能性を引き出しよりよき生きていけるよう、常に学び続ける教職員集団であり続ける。

立川市の重点課題
○学力向上 ○体力向上 ○特別支援教育の充実

重点取組項目
○小・中連携教育 ○ネットワーク型の学校経営

目指す学校像
「今日の学びに喜びを感じ、明日に期待を抱く学校」

目指す児童像
「思いやりや心の心をもち、互いのよさを認め合える子」
「様々なかかわりを通して学び、自分で考えて行動できる子」
「心と体を鍛え、粘り強くやりぬく子」

目指す教師像
「信頼と互助の精神を大切にする教師」
「子どもたちのために学び続ける教師」
「協働と働き合いのある教師」

教育活動の目標と方策

< 学校独自の取組 >

- ◇人権教育の推進
 - オアフィシャルな場での子どもへの丁寧な呼称、自己肯定感醸成の居場所・出番
 - 子ども同士の「ふわふわ言葉とチクタク言葉」
 - ふれあいい間、いじめ解消・暴力根絶仲間、弁護士によるいじめ防止授業
 - 互いを認め合い高め合う共生意識の醸成
 - ⇒ 縦断り班活動、福祉体験活動 (障がいのある方との交流)、西砂ホームとの交流
- ◇小・中連携教育の推進
 - 小学校・中学校の公開授業と課題別協議会
 - 中学校教員による外国語活動授業(高学年×2h)
 - 出前体験授業
 - 6年部活動体験、小学校での中学生職業体験
 - 吹奏楽部三校合同コンサート(3月)
 - 校区スタダート(学習・生活)、共通 SNS ルール
 - 発達段階に応じた家庭学習時間の共有
- ◇立川市民科の推進・ネットワーク型の学校経営
 - 地元農家の協力による農業体験栽培活動(2年～6年)・お米摘み体験(4年)
 - 青少年及び西砂文化会の協力による、麦まき体験(5年)・うどんづくり(6年)
 - だるま作り見学(3年)、国立国語研究所・極地研究所との連携授業
 - 救急救命講習(6年)、交通安全教室、自転車免許講習(3年)
 - ⇒ 立川消防署、立川警察署、地域交通安全協会、PTA
 - 多摩武蔵野検定(5年)、地域団体や保護者による読み聞かせ、幼保連携
 - 西砂児童館・西砂学習館・西砂図書館等、地域施設との連携・地域行事での交流

< 学力向上に関すること >

- 校内研究を軸にした、言語活動を重視した読み取る力の育成
- 朝読書(火曜日)、朝学習：東京ベネシックスドリル(金曜日)、全学年共通「音読」の家庭学習、3年生からの群書引き活動、校区9年間ドリル(算数)の活用
- 教員や学習支援員による補充学習教室
- 放課後(低学年)：13回 水曜日放課後算数：15回 夏季休業中：6回
- ICTの活用、本物や人との出会いを意図した体験的活動
- 「立川スタダート20」や授業改善推進プランに基づく授業
- 校内OJTの推進
- 全教員による一人一授業の実施 OJT 週間での相互授業参観
- 各年次研修、部研修センター・市夏研修修練、市教育研究会、他校の研究発表会等による教員の自己研さん

< 体力向上に関すること >

- 東京都統一体力テストの活用
 - ⇒ 体育授業での課題克服の指導ポイント
 - 子どもの健康な体づくりへの意欲向上の促進
 - 持久走仲間(12月)、なわとび仲間(2月)
 - オリジンピック・パハリントンピック教育の推進
 - ⇒ アスリート等を招いた授業
 - オリジンピック・パハリントンピックの学習(35h)
 - 年間を通して外遊びの奨励

< 特別支援教育の充実に関すること >

- ユニバーサルデザインの視点を生かした、子ども一人一人の教育的ニーズに合った支援(教室環境、学習指導法・教材の工夫)
- 3名の特別支援コーディネーターを軸とした、校内委員会による組織的対応 ⇒ SC・SSW・巡回相談員、学校支援員・子どもと家庭の支援員・ボランテア等との連携
- 特別支援教室西砂小キアラとの連携
- 市教育相談・就学相談、関係医療機関、子ども家庭支援センター、立川児童相談所等外部諸機関との連携
- 特別支援教育に関する校内研修(3回)
- 副籍交流活動
 - 直轄交流2名(羽村特別支援学校、村山特別支援学校、間接交流4名)

平成29年度 立川市立南砂小学校 学校経営計画 (概要版)

立川市の将来像
『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領
立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題
○学力向上 ○体力向上 ○特別支援教育の充実

重点政策項目
○小中連携教育 ○ネットワーク型の学校経営

南砂小学校 教育目標

- 元気な子
 - 考える子
 - 思いやる子
 - がんばる子
- 健康や安全を心がけ、心身ともに健康な子どもの育成
よく聞き、よく考え、思考力の豊かな子どもの育成
仲良く助け合い、思いやりのある子どもの育成
目標をもって、強い意志で行動する子どもの育成

経営理念 人材を育てる学校

目指す学校像

子どもたちの命輝く学校

目指す児童（生徒）像

- 命を大切にし、まわりの人や生き物の命を大切にできる児童
- ・自分自身やまわりの人や生き物の命を大切にすること
- ・目標に向かって全力で取り組む
- ・相手の人のことを考え、相手が喜ぶ行動をする

目指す教師像

- 児童に信頼される教師
- 保護者に信頼される教師
- 同僚に信頼される教師

立川第二中学校区 共通経営方針

○小中学校それぞれのカリキュラムの相互理解を深め、児童・生徒の主体的な学びと自立を促す一貫した教育内容の推進。

校区で目指す子ども像

主体性をもち、自ら考えて行動できる子ども

教育活動の目標と方策（特に方策については、5W1Hを踏まえて具体的に記述する。箇条書きでもよい。）

<学校独自の取組>

基本方針「ふるさとを愛し、世界へはばたく子の育成」

- (1) 「立川市民科」を推進する
- 全学年・・・立川ろう学校との交流活動の推進（各学年 年4回以上）
- 3年・・・高松町商店街での職場体験「9才のハローワーク」（年2回）
- 4年・・・外国の方との交流（年2回 立川国際友好協会）
- 5年・・・地域の畑でのレッツトライ農業（夏野菜・冬野菜）
- 6年・・・地域の方との交流活動（年4回 保育園・幼稚園・高齢者・障害者・ゲートボール・琴や三味線・お茶・在日外国人）

- 5年・・・多摩・武蔵野校定の実施
- (2) 小中連携教育活動の推進
- 小中連携外国語活動を実施（年8回）
- 小中連携挨拶運動を実施（年3回）
- 小中が連携した家庭学習ノートの活用
- 小中が連携したなわとび・持久走カードの活用
- 小中連携清掃活動の実施
- 中学校部活動体験・授業体験

6年・・・救命教習の実施

<学力向上に関すること>

基本方針「よく聞き、よく考え、最後までやりぬく子の育成」

- (1) 日々の授業改善の実施（日々の授業のことを話そう）
- (2) 学習規律の確立
- (3) 校内研究の充実
- (4) 読書活動の推進
- (5) 少人数指導の充実（3・4・5・6年・習熟度別 東京方式）
- (6) 情報機器を活用した授業改善
- (7) 授業観察の充実（年3回 OJT の場とする）
- (8) ベーシック・ドリルの活用
- (9) 家庭学習の推進（高学年は家庭学習ノートの活用）
- (10) 児童の授業評価の活用
- (11) 補習学習の実施（年19回の火曜日 夏期休業日3回）
- (12) 個別の学習記録ゲータータの作成

<体力向上に関すること>

基本方針「心身ともに健康でたくましい子の育成」

- 具体的取組
- (1) 体育の授業での体づくり
- (2) 運動会の実施
- (3) スポーツフェスタの実施
- (4) 早寝・早起き等、基本的生活習慣の徹底を図る
- (5) 一校一取組運動としての持久走旬間を実施
- (6) 一校一取組運動としてのなわとび旬間の実施
- (7) オリリンピック・パラリンピック教育の推進

<特別支援教育の充実に関すること>

基本方針「一人一人が命を輝かせる指導の充実」

- 具体的取組
- (1) 各教科の授業及び道徳教育の充実
- (2) 交流及び共同学習の推進（立川ろう学校との交流及び共同学習の推進）
- (3) いじめ・不登校0への取組の推進
- (4) 学校支援員の活用
- (5) スクールカウンセラーの活用
- (6) 巡回指導教員・特別支援教室専門員の活用
- (7) 市及び都巡回相談員の活用
- (8) 校内委員会の充実
- (9) 通常学級の教員と南砂小キラリとの授業交流
- (10) 個別指導計画・個別の教育支援計画の活用

立川市の将来像
『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領
立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿
○「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
○生涯にわたって自己を高めようとする子ども
○まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
○まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

学校教育の重点課題
立川市の重点課題
○学力向上 ○体力向上 ○特別支援教育の充実
重点取組事項
○小・小・小中連携教育 ○ネットワ－ク型の学校経営

若葉小学校 教育目標
スローガン 「心やさしく 活躍かせ 学び合う学校」

人間尊重の精神を基盤とし、心身ともに健康でたくましく生きる人間性豊かな児童を育成するため、次の目標を定める。
◎心豊かな子 (重点) ○自分の考えをもつ子 ○元気な子

立川第九中学校区 共通経営方針
児童・生徒、保護者、地域の方の信頼と期待に応え、共生を目指す
～共に育てよう、未来の若葉っ子～
校区で目指す子ども像
○基礎・基本の力を身に付け、課題をもって取り組む児童・生徒
○思いやりの心をもち、地域や人との関わりを大切にす児童・生徒
○地域への愛着や貢献できる意欲をもち、世界に目を向けることのできる児童・生徒
○夢をもち、何事にも自信をもてる児童・生徒

目指す児童像
(1) 思いやりの心をもち、相手の立場に立って考え、人とのかわりをもてる子
(2) 人からの教えを素直に受け止め、自分でよく考えて理解し、表現することのできる子
(3) 進んで運動に親しみ、健康で、粘り強く取り組める子

目指す学校像
(1) 子どもたちが「行きたい」と思う学校
①授業の充実 ②生活探検、学習探検の整備
(2) 地域・保護者が「行きたい」と思う学校
①安心 ②信頼
(3) そこに働く教職員が「誇り」と思える学校
□子どもの成長 □地域・保護者との信頼関係

目指す教師像
(1) 自ら進んで協力し、創意工夫に励む教師
(2) 教育のプロとして研鑽に励み、自信と英断に裏付けされた授業を行う教師
(3) 言動に注意し、児童・保護者・地域・関係から信頼される教師
(4) 新たな教育課題、教育課題、新校設立に向けた課題に積極的に対応する教師
(5) 若葉小の歴史と伝統づくりに、自ら関わってほしいという意欲をもった教師

教育活動の目標と方策

〈人権尊重の教育・生命尊重の教育〉
① 人権教育の全体計画に基づき、基本的人権の尊重と人権教育の推進
② 「いじめ」について児童が主体的に考え、その防止に取り組む力の育成
③ 自らの命を守ろうとする態度の育成
・人権教育プログラムやふれあい月間の有効的な活用
・学校危機管理マニュアルの周知・徹底
・教材「3.11を忘れない」防災ノート「東京防災」[SNS 東京ノート]等を活用した安全教育、防災教育の実践。
・学期1回以上のアンケート調査や面談等の実施により、いじめの未然防止・早期発見・早期対応。
・毎週金曜日の夕会で生活指導連絡会を実施。
〈多文化共生を目指した教育〉
① 外国文化理解を深め、文化の異なる人とも互いに尊重し、共に生きようとする共生の態度の育成
② 誰とも主体的にコミュニケーションを図ろうとする意欲の育成
③ 日本の伝統文化を知り、誇りをもち、紹介や発信のできる児童の育成
・1年生から6年生まで全学年においてALTを活用した外国語活動の授業実施、全教員1回以上の提案授業の実施。
・外国語活動を校内研究の重点項目として全教員で取組。
・日本の伝統文化を推進校として、様々な日本文化に触れる機会の充実。

〈地域・小中・小の小との連携を充実させた教育活動〉
① 義務教育期間9年間を見通した、不登校児童・生徒の学校不登校の解消、未然防止
② 明るい挨拶と返事ができる児童・生徒の育成
③ 自己肯定感や有用感をもち、自分も他人も大切にしたい人間性の育成
④ 子どもの生命・安全・健康を第一に考えた、危機管理や安全管理の徹底
⑤ 地域理解、郷土愛の醸成
⑥ スムーズな学校統合
・小学校・中学校及び家庭・地域との連携を密にした教育相談機能の充実。
・挨拶を生活指導の年間目標に設定。児童会活動や小中連携活動を活用して創意工夫したあいさつ運動
・道徳授業地区公開講座をはじめ、家庭や地域と連携した道徳、地域を題材にした道徳を学期1回以上実施。
・地球やP.T.Aとの連携した登下校の見守り、自転車交通安全、合同防災訓練、避難訓練等の実施
・「立川市民科」における地域での体験的な活動や調査活動の実施
・新校に向け教育課程、学校経営計画、自己申告書の内容に一貫性をもたせ、教育目標を達成するための具体策を明確にした教育活動の実施。
・けやき台小学校児童との人間関係づくりを目的とした取組の企画・実施。

〈体力向上に関すること〉
① 東京オリンピック・パラリンピックに主体的に関わり、日本の伝統・文化の良さを発信できる能力・態度の育成
② 体力テスト結果を都平均まで引き上げ
③ 運動の日常化と生活習慣の改善
・オリンピック・パラリンピックの学習を各教科で実施。
・走ることを毎時間実施するなど、体力テストを生かした体育科の授業改善や工夫。
・なわとびカード、持久走カードや、体を動かす「ゲーム集会」の実施。
・親子運動遊び、地域スポーツ大会への参加の推奨
・小中連携による部活体験

〈学力向上に関すること〉
① 児童が自ら課題を発見し、その解決に向けた主体的な学びに意欲的に取り組む力や、思考力・判断力・表現力の育成
② 個に応じた基礎的・基本的な学力や発展的な学力の定着
③ 養育教育9年間を見通した学力向上
・若葉小スタンダードを基にした授業の展開。
・ICT機器の週2回以上活用。
・ペーパーレスドリルを活用した朝学習や補充的な学習。
・板書やノート指導等きめ細やかな指導。
・家庭学習推進リーフレットの活用など小中、小の小の連携や家庭との連携による家庭学習の習慣化。

〈特別支援教育の充実に関すること〉
① 特別支援教育への学校全体の対応力・指導力向上
② 支援が必要な全ての児童に適切な指導を行うことができるような学校の体制の整備
③ 特別支援学級の児童へのキャリア教育を計画的に実施
④ 共に生きる・成長する姿勢をもつ児童を育成
・特別支援コーディネーターを中心に校内支援委員会を隔週で実施。
・スクールカウンセラー、SSWなど専門家や関係機関との連携。
・学期ごと、特別支援学級担任等からのOJTや先進校での研修のフィードバック。
・通常の学級と特別支援学級の交流活動を月1回以上。

『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

立川市の将来像

- ・自分で考え、行う子ども (重点)
- ・ねばり強くやり抜く子ども
- ・なかよく力を合わせる子ども
- ・心と体をきたえる子ども

法令・学習指導要領

立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようとする子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題

- 学力向上
- 体力向上
- 特別支援教育の充実

重点取組事項

- 小中連携推進
- ネットワーク型の学校経営

立川市立幸小学校 教育目標

- ・自分で考え、行う子ども (重点)
- ・ねばり強くやり抜く子ども
- ・なかよく力を合わせる子ども
- ・心と体をきたえる子ども

立川市教育委員会 教育目標

立川市立幸小学校 教育目標

★基本理念・豊かなかかわりの中で「自ら学ぶ子」を育てる。

経営理念：児童の主体的な学びを重視し、学力向上に向けて具体的な取り組みをする。

児童の様々な体験活動を通して、人権教育を推進する中、人との関わりを大切に、思いやりの心を育成する。

目指す学校像

- 地域とかかわりをもち、子供たちが学んだことを誇りに思える学校
- 児童、保護者、地域から信頼される学校
- 豊かな学力が身に付く学校
- 積極的にネットワーク作りを行い、学校、家庭、地域、関係機関が一体となった教育活動を行う学校

目指す児童 (生徒) 像

- 自ら考え、主体的に自分の課題解決に向けて粘り強くやり抜く子
- 規範意識をもった思いやりのある子
- 健康・安全に気を付けて生活できる子
- 将来の夢を持ち、夢の実現に向けて努力する子
- 人との違いやよさを認め、自分の個性を伸ばせる子

目指す教師像

- 学校への誇りと使命感をもち、子供とともに学び、育つ教師
- 専門家として指導力と人間性を兼ね備えた教師
- 特別支援教育について豊富な知識をもち、実践ができる教師
- 常に向上心をもち、課題解決のために挑戦する教師

教育活動の目標と方策 (特に方策については、5W1Hを踏まえて具体的に記述する。箇条書きでもよい。)

<学校独自の取組> 小中連携教育の推進

- ① 5、6年生対象、立川第四中学校教諭による外国語活動の実施 (年間10時間・各学年年間2時間)
- ② 立川市民科の実施。指導計画の作成。校区小中学校の生活指導上の連携 防災教育 (救急救命初級・中級取得)
- ③ 部活動体験・一日体験授業の実施 2月 ④ 入学前情報交換、教育相談体制 引き継ぎ、不登校対策の充実
- ⑤ 生活指導の課題の共有化を図り、明文化する。SNSについての学校ルール作り 家庭ルール作り
- ⑥ 小中連携推進授業・算数・理科1回 ⑦ 中学生職場体験の受け入れ、立川第四中、立川第六中
- ⑧ 学校行事の交流 運動会、体育祭、学芸会、職場体験 合唱祭、春フェスタ
- ⑨ オリエンティック・パビリオンピック教育の推進 (3年間の連携) ⑩ 入学前、事前教育相談、面接

ネットワーク型の学校経営

具体的な手立て

- ① 地域ネットワークの構築と活用 (市民力の活用) ② PTA行事、地域行事の積極的な参加 OBの会・こだまの会の連携 ※PTA保護者、学校評議員、地域人材、専門家、保護者、NPO、企業や立川市の施設や人材活用、計画的に授業 ※PTA保護者、学校評議員、地域人材、専門家、保護者、NPO、企業や立川市の施設や人材活用、計画的に授業 ※PTA保護者、学校評議員、地域人材、専門家、保護者、NPO、企業や立川市の施設や人材活用、計画的に授業
- ② 幼・保等連携 (たかのみち保、あおぼ保、かしの木幼、双葉幼、幸児童館、幸児童等) ※授業参観・研修会参加、教員間交流、保護者会年2回、学校行事等で交流。
- ③ 立川警察署、立川消防署との連携交通安全教室、応急救護・救命講習 (6年) 多摩・武蔵野検定 (5年) <その他>・服務研修の実施 (年間計画作成) 毎月・積極的な研修参加 (都、立川市)・学校公開週間 年2回

<学力向上に関すること>

具体的な手立て

- ① 学力向上推進プラン、授業改善推進プランの見直しと活用
- ② 幸学習スタンダードTH29の徹底
- ③ 校内研究を通して課題解決型授業 (次期学習指導要領に対応)
- ④ 学力調査の結果分析と対策・・・(文科省6年 都教委5年 全児童対象)
- ⑤ 東京 (算数) ベイシシドリの活用
- ⑥ 学力向上のための補充授業 (朝のパワーアップタイム、月曜塾、サマースクール等の補充授業5日間) ベイシシドリの診断テスト3回
- ⑦ 学習意欲の向上のため、主体的、対話的な深い学び、AI導入。
- ⑧ 特別活動授業公開 (学級会等、話し合い活動の充実) 授業力アップ研修
- ⑨ 家庭学習の充実を図り、家庭での学習環境作り、家庭学習の手引きを活用
- ⑩ ノーメディア週間の実施・年2回 ⑪ PTA対象の読書の実施・年1回
- ⑫ 学習支援者の活用、放課後補充学習・週1回

<体力向上に関すること>

具体的な手立て

- ① 授業外の活動の充実・年間を通しての体力向上の取り組み (大観集会、単級指導、単級検定、ペーパースタニング週間等)
- ② 授業での体力調査の課題克服 (20Mシャトルラン、ソフトボール投げの指導強化) 調査記録5%UP
- ③ 「オリエンティック・パビリオンピック」教育の推進。(平成29年度、東京都オリエンティック・パビリオンピック教育推進校指定校) ・年間指導計画を作成する。小中連携の中で推進
- オリエンティック・パビリオンピックの学習 (生活科、総合学習、国語、社会の時間等を活用する) 全学年年間38時間実施
- ④ 全校外遊びの実践 (異学年交流) (ハッピータイム) 月1回
- ⑤ 学年の児童対象に読書読論の中心としたヘルプロモーションの授業
- ⑥ 専門家を招へいしての授業 年2回

<特別支援教育の充実に関すること>

具体的な手立て

- ① 生活指導・教育相談・特別支援教育の充実
- ② 幸小スタンダードTH29の徹底
- ③ 規範意識の確立、「挨拶+1」の徹底。
- ④ あれあいの月間の取組、人権教育を推進。いじめ、不登校、暴力「ゼロ」
- ⑤ 通常の学級の支援を要する児童への具体的な対応。(校内委員会の充実、学校体制での対応、関係諸機関と連携) 幸小キラリと連携
- ⑥ 特別支援教育に関する校内研修会の実施 (夏・冬2回)
- ⑦ 関係諸機関との連携 (子家セン、立川児相、教育相談室、通級指導学級)
- ⑧ 異学年交流、集団活動の拡充・ハッピータイム、清掃、読み聞かせ、九九、リコーダー等 縦割班清掃
- ⑨ 福祉教育の充実 (副都立交流：新25年、障がい者との交流) 4年
- ※武蔵台学園・村山特別支援学校との交流 ※学校支援地域本部設置準備

立川市の将来像
『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領
立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題
 ○学力向上 ○体力向上 ○特別支援教育の充実
 重点取組事項
 ○小中連携 ○ネットワーク型の学習

松中小学校 教育目標

- 「やさしく」…共感する態度で接し、相手を思いやり、互いのよさを認め合う。
(今年度の重点目標)
- 「かしこく」…自ら学び、考え・伝え合い、体験を通して、基礎基本の学力を身に付ける。
- 「たくましく」…よりよい生活習慣を身に付け、体力の向上を図り、何事にも粘り強く取り組む。

立川第七中学校区 共通経営方針

- 小・中9年間の教育活動により、自立した子供たちを育てる。
- 「知徳体の調和のとれた子ども」を育てる。
- 校區スタンダード(学習・生活)を共有協働して取り組み、定着を図る。

校區で目指す子ども像

「自ら学び、自ら行動する、自立した子ども」

経営理念 ①子供の利益を判断の最優先とする ②教職員がチームとして協働するとともに、一人一人が責任をもつ。
③教職員の仕事を最大限に支援する。④保護者・地域とのつながりを大切に、信頼力を高める。⑤教育公務員として法を遵守する。

目指す学校像

- (1) 子供たちに、基礎的・基本的な学習内容を身に付けさせることができる学校
- (2) 組織として課題を自覚し、一人一人が役割を果たして課題解決できる学校
- (3) 地域の学校として、みんなが誇りに思える学校

目指す児童(生徒)像

- (1) 共感する態度で接し、相手を思いやり、互いのよさを認め合う児童
- (2) 自ら学び、考え・伝え合い、体験を通して、基礎基本の学力を身に付ける児童
- (3) よりよい生活習慣を身に付け、体力の向上を図り、何事にも粘り強く取り組む児童

目指す教師像

- (1) 常に指導力向上に努め、研修等を通して力を磨く教職員
- (2) 他者を深く理解し、他者のよさを認められる、人間性豊かな教職員
- (3) 教育公務員としての自覚をもち、コンプライアンス意識の高い教職員

教育活動の目標と方策

<学校経営のデザイン>

- キャッチフレーズ 「学が楽しさ味わって、みんなが笑顔の松中小」
- 「どの子ども、だれもが」をキーワードにして、確かな力、やさしい心、個をかがやかせ、社会のために役立つと
する児童を育てる。
：確かな力・・・楽しく学べる学校、主に学力、体力の向上に関わること
：やさしい心・・・笑顔で過ごせる学校、主に規範意識の育成と安全、安心に関わること
：個をかがやかせ・・・温かい学校、主に特別支援教育の理念を踏まえた取組に関わること
：社会のために・・・地域や自然を大切にしている学校、主に地域素材の活用に関わること

<学力向上に関すること>

- ① どの子どもにも分かる授業づくり
【学習環境整備】
○授業規律、学習規律の確立(松中小スタンダードの徹底)
○授業の見通しができるような掲示物の工夫や学習用具の整理整頓
【学習指導】
○授業のUD化を進め、学びの共有と練習時間の確保をする。
○主体的で対話的な深い学びの授業展開を行う。
○ICT(タブレット端末)を活用した授業展開を行う。
② 学習内容の定着
○余剰時間での反復学習を指導する。
○必要な子供に対して補充学習を行う。
○学年×10分の家庭学習を指導する。

<体力向上に関すること>

- ① 体力向上の推進
○オリンピック・パラリンピック教育の推進
○計画的な取組(体力調査の活用、なわとび、ラジオ体操)
○集団行動とけがや病気の予防指導(朝会、集会、避難訓練、運動会)

<規範意識と安心・安全に関すること>

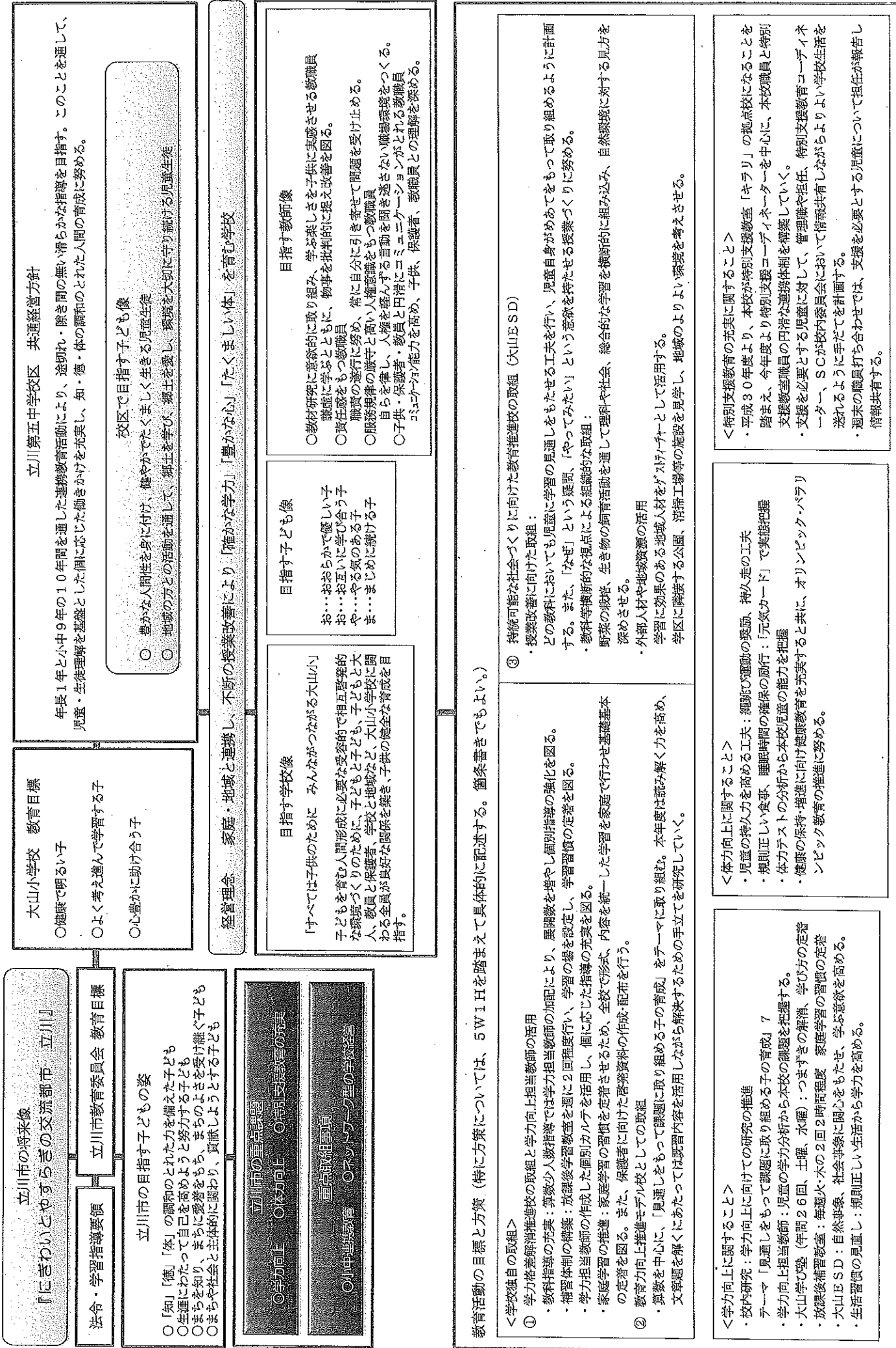
- どの子どもにも分かる、守れる生活ルールの指導
○明るく元気な挨拶と優しい言葉遣いの指導
○教師・保護者が手本となった公共心や公德心を育成する。
○いじめ、不登校等の課題への即時・早期・組織的対応
○安心できる安全な環境づくりと備え、全職員による児童の見守り

<特別支援教育の充実に関すること>

- ① どの子どもにも分かる授業環境づくり
○授業規律、学習規律の確立(松中小スタンダードの徹底)
○授業の見通しができるような掲示物の工夫や学習用具の整理整頓
○掃除用具などの教室の備品について統一化
② 特別支援教育の理解・啓発
○キャリアとの連携によるコミュニケーション力を高める指導をする。
○キャリア担任との連携した理解教育を行う。
○社会福祉協議会を通して各種団体と連携を図った障害理解
③ 組織的体制
○校内委員会の定期的開催
○SCや関係機関との連携
○気になる児童への声かけ指導と報告・連絡・相談の徹底

<学校独自の取組>

- ① どの子どもにも体験できる、学べる地域活用
○学校支援地域本部事業を活用した、農業体験、環境学習、キャリア教育、食育など立川市民科の充実
○救命救急講習 入門編 6年生で実施と多摩・武蔵野校定 5年生で実施
② 幼、保、中学校区との連携強化
○幼稚園や保育園との交流学習
○立川七中との小中連携教育、合同研修会の計画、実施
③ 誰でも分かる学校生活を目指した地域とのつながり
○学校だよりやHPでの情報発信と地域行事への参加(炊事クラブ)



立川市の将来像

『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領

立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題

○学力向上 ○体力向上 ○特別支援教育の充実

重点取組事項

○小中連携教育 ○ネットワーク型の学校経営

立川市立柏小学校 教育目標

21世紀を主体的に生きる、国際的視野に立った、人間性豊かな児童の育成を目指す。

- ・よく考えて実行する子ども (重点目標)
- ・心豊かで思いやりのある子ども
- ・健康でたくましい子ども

立川第四中学校区 共通経営方針

小中学校を連携した9年間とらえ、豊かな心と確かな学力の育成を図る。

- 校區で目指す子ども像 キーワード「主体性」
- 自ら考え、進んで学習する子(知)
- 人と積極的に関わり、他者と協力できる子(徳)
- 自ら進んで体を鍛え、心身ともに健康で安全な生活をする子(体)

経営理念 教員自らが常に学び姿勢を持ち、もって子供たちに学ぶ喜びを伝える。子どもや保護者とともに悩み・汗をかき、そして喜び、もって地域に愛され、信頼される学校。

目指す学校像

柏小学校に集う子ども、保護者・地域そして教職員が「お互いさま」という心をもって手応え(学びがい・協力のしがい・働きがい)を感じる学校

目指す児童像

- 心豊かで、相手の思いを感じ取ることができる子ども
- 自分で考え、発言・行動できる子ども

目指す教師像

創造的で人間味あふれ、アカデミックであり続けようとする教師

教育活動の目標と方策

- 【良質な授業】— 教師の創造性が勝負！ —
- 教師自らが常に学び姿勢を持ち続け、子供・教師が共に手応えを感じられる授業づくりを行っていく。
 - ①教師自らが学び、授業の質を高めていく。
 - ・計画的・系統的な授業
 - ・校内研究の充実 研究テーマ「主体的に考え、伝え合う力を育てる * 単元のめあてに迫るための言語活動の工夫」
 - ・柏ハスタウンダードに基づく授業スタイルの確立 (課題解決型授業・深い学びにつなげる話し合い活動の工夫)
 - ・英語指導力の向上 (推進リーダーを活用した組織的な向上)
 - ・OJTの活用 (特設OJTによる授業力・特別支援力の向上)
 - ②児童の学力向上と体力向上
 - ・基礎・基本の徹底 (定着度テストによる実態把握、計算領域における指導の共通化、補習・朝学習によるペーシックドリルの活用)
 - ・課題解決型授業の展開 (資料の提示と予想場面の工夫)
 - ・サーキットトレーニングや遊具の活用・オリパラ教育の推進
 - ・小中連携と英語活動の充実
 - ・市民科の推進 (多摩・武蔵野検定、防災教育を柱とした小中連携の推進)
 - ・道徳の授業化への取組 (評価の研究)
 - ・英語・外国語活動の充実

【安心と安全】一足で稼ぐ！ 手本を示す！ —

- ①学校づくりと学級作り
 - ・押し量りと寄り添い
 - ・計画はゴールから、現場はスタートから
 - ・人を育てる (委任・安心・手応え)
- ②基本的な生活習慣の確立
 - ・生活習慣作りの共通実践
 - ・保護者への啓発
- ③いじめ・不登校への対応
 - ・児童理解 (子どもや集団の素の姿を見る)
 - ・いじめ防止への取組 (温かな学級の風土作り、組織的な対応、第三者への啓発)
 - ・行為への対応と気持ちへの寄り添い
 - ・欠席児童への対応
- ④特別支援教育の充実
 - ・特別支援教育への理解 (科学的な知識理解とスキルアップ)
 - ・ユニバーサルデザインに基づく授業作り
 - ・校内委員会の活性化
 - ・柏小さらりの立ち上げ準備
- ⑤危機管理意識の向上
 - ・管一幹一任一教諭の相互方向のライン作り
- ⑥保護者への対応
 - ・誠実な対応と寄り添う姿勢 (一緒に悩む姿勢！)

【チームプレー】— お互いさまの心をもって —

- 助け合い、感謝し合い、適を計し合う心
できない理由を探すのではなく、どのようにしたらできるのか知恵を出し合う！
- ①目標の共有化と組織的な対応
 - ・温かく認め合い、高め合う職員室文化の創造
 - ・組織的な取組 (課題の共通理解と取組への役割分担)
- ②ネットワークによる学校の活性化
 - ・保護者の学校づくりへの参画 (積極的に保護者を頼る)
 - ・各種交流による多様な尊重教育 (1年：幼保小連携 2年：二ユウカレドニア 3年：サンバーナディノ 4年：朝鮮学校 5年：障がいのある方との交流)
- ③指し手感覚での取組
 - ・ゴールと手立て (自ら目標をたて、到達までをイメージする)
 - ・意義と価値 (すべきことに意義を見いだし取組に価値付ける)
- ④危機管理と服務事故の未然防止
 - ・危機管理意識の向上と組織的な取組 (「これくらいなら」という意識との戦い)
 - ・事態の影響 (黄色信号で動く、事故発生時をイメージする)
 - ・互いの声かけと防止システムの構築

立川市の将来像
『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領
立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿
○「知」「徳」の調和のとれた力を備えた子ども
○生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
○まねを知り、まねに意欲をもち、まねのよさを受け継ぐ子ども
○まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題
○学力向上 ○校が上 ○特別支援教育の充実
重点取組事項
○小中連携教育 ○ネットワーク型の学校経営

上砂川小学校 学校教育目標
◎ 心美しい子 ○自ら考える子 ○たくましい子

- ・互いに協働し、人を思いやる心豊かな感性をもつ児童の育成
- ・自ら学び、よく考え、主体的に判断し、表現できる児童の育成
- ・心身ともに健康で、目標をもって粘り強く行動できる児童の育成

立川第五中学校区 共通経営方針
 年長1年と小1・中の9年間の連続教育活動により、途切れない学習の連続性を確保し、この成果として、健全育成を基盤とし、適切な指導の二一に正しく10年間の連続性を確保し、児童生徒の理解に働きかけた学習を通して、知育・徳育・体育・心育にバランスの取れた生徒を育成し、貢献できる人材を輩出する。

校区内目指す子ども像
 ○ 豊かな人間性を身に付け、健やかでたくましく生きる児童生徒
 ○ 地域の方との活動を通して郷土を愛び、郷土を愛し、環境を大切に守りつづける児童生徒

経営理念 立川市立学校であることを踏まえ、法令や学習指導要領を遵守した学校経営を行う。
 魅力ある教育課程を編成・実施し、児童の可能性を最大限に引き出す。

目指す学校像
 ○ 基礎的・基本的な学習内容を身に付けさせ、学びを深め得る学校
 ○ 総論人として学校課題を自覚し、課題や役割に即して、報告・連絡・相談が徹底された学校
 ○ 開かれた学校を推進し、地域の学校として保護者・地域から信頼される学校

目指す児童像
 ○ 互いの良さを認め、助け合い協力しながら、正しい行動ができる児童 (心優しい子)
 ○ 意見を整理し、筋道を立てて発表、積極的に表現できる児童 (自ら考える子)
 ○ 心身ともに健康で、進んで体を動かかし、自分の目標に挑戦できたり強く努力する児童 (たくましい子)

目指す教師像
 ○ 組織の一端として職務専攻を担ぐ自律と体制を認め合い、指導と授業、教習への情熱をもった教職員
 ○ 勤務時間や課外活動を含むことができる、人間性豊かな教職員
 ○ 常に成長力の向上に努め、研修等を通して力量を磨き続ける

教育活動の目標と方策 (特に方策については、5W1Hを踏まえて具体的に記述する。箇条書きでもよい。)

- <学校独自の取組>
- 思考力、表現力を高める算数指導の展開
 - 校内研究 (教育力向上推進モデル校・情報教育推進校 (プログラミング教育の研究)・習熟度別少人数算数指導 (各学級5人組))
 - 社会性を高め、自信のよさに気付かせる
 - ・「あ、い、う、え、おの約束」(挨拶、一生懸命に頑張る、運動、笑顔、お話を聞く)
 - ・小中連携・S.C.の活用 (5年全員面談)・学級経営・学年経営
 - 家庭や地域との連携
 - ・教育活動に家庭や地域 (大・中・小) の人材を含め、学校支援ネットワークの構築を進める

- 個のよさが発揮できる場を工夫する (文化・伝統の理解・相互尊重と想像) 異学年交流
- 一人一人のよさを伸ばす指導を推進 (心の通い合う進めりのある学級・学年経営)
- 思いやりの心を育む (心の豊かさの重視)
- 体験的・課題解決的な学習を進める (課題設定、体験、励励、生活感、当事者意識の重視)
- 学校の情報発信 (学校により、ホームページの更新、メールの活用)
- 生き方の学習 (夢、希望、目標、目的、生き甲斐、自己との関わり)
- 自覚と自立の生活指導
- 環境・福祉教育 (人や社会の役に立つ体験、ボランティア体験)

- <学力向上に関すること>
- 基礎・基本の徹底 (よさ、工夫、進歩の発見と賞賛)
 - ・わかる授業・反復練習・補習授業・朝学習・朝読書・朝読書・肯定的評価、指導と評価と支援の一体化
 - ・子どもたちの柔軟、多様な発想、表現力、討論、高め合いの奨励
 - 主体的、対話的で深い学びのある授業実践 (子どもが主体的に授業改善)
 - ・授業改善・週ごとの指導計画 (PDCAの実践)・教育課程の適正実施
 - ・授業の計画的適正実施
 - 外国語活動の充実・拡大
 - ・3、4年にも外国語活動を実施し、次期学習指導要領の実施に備える
 - ・ALTと協力して、表現力やコミュニケーション能力の素地を養う
 - 基本的な生活習慣の確立 (家庭との連携強化)
 - ・授業規律の確立 (上砂川小スタンダード)
 - ・家庭と連携し、遅刻、忘れ物ゼロを目指す

- <体力向上に関すること>
- 体力向上の推進
 - ・オリエンテック、パラリンピック教育
 - ・計画的な全校の取組 (体力調査の活用・水泳・縄跳び・ラジオ体操・マラソン週間等)
 - ・本に関する指導、けがや病気の予防
 - ・集団行動
 - ・運動会、運動訓練、研会、集会、授業等)
 - 体力向上週間の設定、取り組み
 - ・学期ごとに「体力向上週間」を設定し、学校全体で一斉に体力向上への取り組み
 - ・学期ごとに「体力向上週間」を設定し、学校全体で一斉に体力向上への取り組み
 - ・計画的に組織的に行う
 - 体力調査への取り組み
 - ・保護者、地域の方々にボランティアを呼びかけ、連携して子どもたちの体力の英傑を把握し、体力向上の指導に生かす

- <特別支援教育の充実に関すること>
- 個に応じた指導を充実 (体系的な学習・問題解決的な学習・探求活動の積極的導入)
 - ・適正な評価・児童の課題を明確にし、学習意欲の向上を図る
 - ・学習の遅れがちな児童に対して、補習教室など適切に支援をする
 - ・特別な支援が必要な児童には、巡回相談員やS.C.などと連携し、組織的に積極的に支援を行う
 - 特別支援教育の推進
 - ・上砂川小キラリ開設・通常の学級とキラリの連携・通常の学級での支援の充実
 - 生活指導・学級経営・授業の充実・習熟度別指導・学級の壁を閉く
 - ・迅速な報告、連絡、相談
 - ・結果の出る授業の実践
 - 一人一人のもっているよさ (個性・長所) や可能性を生かし、障害や発達に配慮した指導を通して、心身の調和のとれた発達を図る
 - 個別の教育支援計画及び個別指導計画を基に計画的に支援をする

立川市の将来像
『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

立川市教育委員会 教育目標
法令・学習指導要領

立川市の目指す子どもの姿
○「知」「徳」の調和のとれた力を備えた子ども
○生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
○まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
○まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題
○学力向上 ○学力向上 ○特別支援教育の充実

重点政策推進
○小中連携教育 ○ネットワーク型の学校経営

立川市立新生小学校 教育目標
「自ら学びを創る子ども」
「自立」…主体的に学び、問題解決や達成に取り組む子どもの育成
「温かい人間関係を創る子ども」
「共生」…共感する態度で接し、相手を理解しよさを認め合う子どもの育成
「たくましい気力・体力をつくる子ども」
「健康」…快活な態度で過ごし、何事も粘り強く取り組む子どもの育成

立川第八中学校区 共通経営方針
○小・中9年間の教育活動により、社会貢献できる児童・生徒を育てる。
○「学力」「体力」「豊かな心」を身に付けさせ、生きる力や世界に貢献できる児童・生徒を育てる。

校務で目指す子ども像
○豊かな人間性を身に付け、雄やがたくましく生きる児童・生徒
○地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする意欲をもつ児童・生徒

目指す学校像
・豊かで潤いのある学校
・人的・物的環境整備がなされ、真やかな笑顔が輝き交う学校
・自己のよさを発揮できる学校
心豊かに、主体的に、そして創造的に生きる学校
・協力し、高め合う学校
・認め合い、支え合い、協力し合う、高め合う学校

目指す児童(生徒)像
・意欲的に学び、よく考え、自信をもって自分なりの考えを表現できる児童
・思いやりの心をもち、相手の立場に立って考え、関わり行動のできる児童
・進んで運動に親しみ、健康で、何事にも粘り強く取り組む児童

目指す教師像
・教師としての使命感、熱意、愛情をもち、社会性に富んだ教師
・児童一人一人を大切に、確かな人権感覚を身に付けた教師
・保護者や地域の思いや願いを受け止め、学校教育に生かす努力を惜しまない教師

経営理念 夢と希望と笑顔あふれる新生小学校
「子ども一人一人の心を育てる」「子ども一人一人の確かな学力の定着と体力の向上を図る」「子ども一人一人の心身の安定を図る」

自他を大切にする学びと生活、成就感・連帯感を味わわせる教育活動の展開

(1) 学力・体力向上を目指す教育の推進
①各教科において児童が生き生きと自らの考えを発表し合い、聞き合う学習(毎日設定)ができるようにする。また、校内研究の成果を教科・領域等で実践していく。
②アクティブ・ラーニングの視点を立って学習活動において、ICTを効果的に活用した学習を行い、考え、話し合い、学び合う学習の推進を図る。(立川スタンダード20の実践・・・ねらいを明確にした授業)
③朝学習(週2回)による習熟と学力向上ステップアップ推進事業(補習学習)、東京ベレーシングドリル(算数)を実施するとともに、1単位時間に習熟や作業等、個々が取り組む時間を位置付け(毎日設定)、学力向上(文科学習)の学力調査において平均を超える)に資する。
④学習規律の基本となる「はい、立つ、です」「せ・め・て」の全学級完全実施(基本的に100%実施)を図る。
⑤各種教育支援機関と連携し、子どもたちの実体験・経験がより多くできるようにする。特に、年間を通じて全学年で、出前授業についても取り入れていく。
⑥読書指導の充実を図り1年間に一人平均50冊以上の読書に取り組む。
⑦校庭芝生化や新生サーキット運動、体力向上月間に取り組み、都の体力調査において、全学年都平均を超える。

(2) 特別支援教育の充実
①特別な支援を必要としている児童に対して「個別支援計画」「個別指導計画」を作成し(100%実施)、学校や家庭における指導を充実(保護者との連携)させる。
②教室環境を整え、掲示物の人権的な配慮、教室前面への掲示物等の配慮(管理職による毎日の確認)について徹底する。全教育活動を通じて、人権教育を一層推進する。
③一日の終わりに、子ども達の輝きについて賞賛できる時間を設け、日々の生活の中で成功体験を多くすることで「できる喜び」や「自己肯定感」を児童に体感させる。
④授業の中でユニバーサルデザインの実践をし、児童に分かりやすい授業を展開していく。(視覚化、言語化)
⑤学び合い活動の基盤となる温かい人間関係を育てる。
⑥東京都いじめ防止対策条例を踏まえ「学校いじめ防止基本方針」の確実な実施。特に、道徳教育の充実を図り、家庭と連携の下、いじめのない豊かな人間関係を育成し、いじめゼロを目指す。(声を出させる、第三者を作らない、未然防止・早期発見・早期解決への組織対応)
⑦道徳と関連させた心の指導、児童相互のいじめ防止、ボランティア活動(おはようボランティア、ゴミ出しボランティア、クリーンボランティア)等への取り組みを通して、豊かな心の育成を図る。
⑧特別支援教室新生小キヤリの効果的な活用を図る。

(3) 小中連携教育の推進とネットワーク型の学校経営
①立川八中、新生小と9年間を見通した学びの連続性を視点に連携教育活動を展開する。(立川市民科・外国語活動・キャリア教育を中心に取り組む)
②教員・生徒派遣型の小中連携教育活動を通して、児童・生徒と教員との人間関係を構築していく。(小学校運動会ボランティア、授業支援、進路指導、体験授業・部活動体験、地域清掃、漢字検定等)
③立川市民科の取組や地域の様々な方々との交流、体験活動を通して、市民力を活用し、安心・安全及び特色ある教育活動を展開するとともに郷土を愛する心と豊かな社会性を育てる。
④地域・保護者と共に豊かな人間関係をつくるために、各種学校行事・道徳授業地区公開講座・保護者会等、テーマをもって地域・保護者と連携するとともに、学校行事や授業公開を推進し、学期ごとに土曜授業の公開を設定する。
④地域支援団体(各自治会、朝ボラの会、グリーングリーン委員会、安全見守りボランティア、かぜっ子クラブ、青少年健、富士子連、たちかわ未来パーク、たちかわ創造舎等)との連携を充実し、地域や保護者の意見・評価を真摯に受け止め、改善に働くものは即生かしていく。
⑤自ら進んで気持ちのよい挨拶ができる児童の育成を図る。